

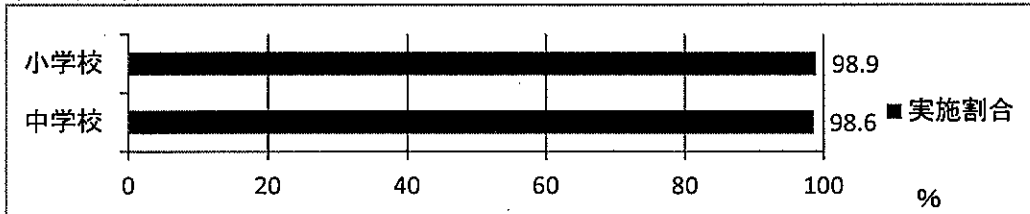
「環境教育・環境保全活動・協働取組み」
に関するアンケート調査（H28.11）の
結果について

学校	P 1 ~ P 18
企業	P 19 ~ P 32
民間団体等	P 33 ~ P 40
市町村	P 41 ~ P 47

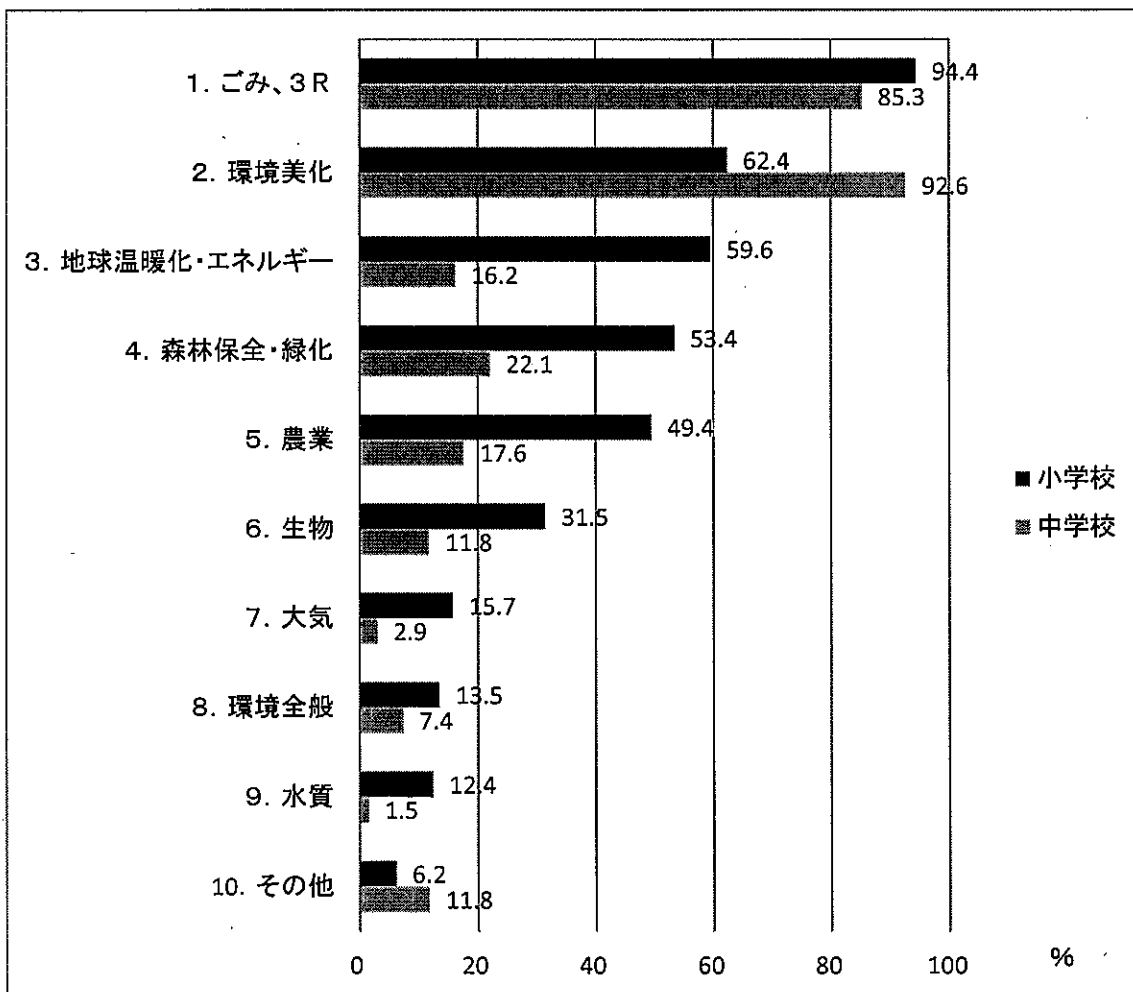
「環境教育・環境保全活動・協働取組み」に関する アンケート調査結果(学校)

回答数 小学校:180校/189校
中学校: 69校/81校

問1 貴校では、平成27年度に、環境保全活動や児童・生徒を対象とした環境教育(社会科見学などを含む。)を行いましたか。



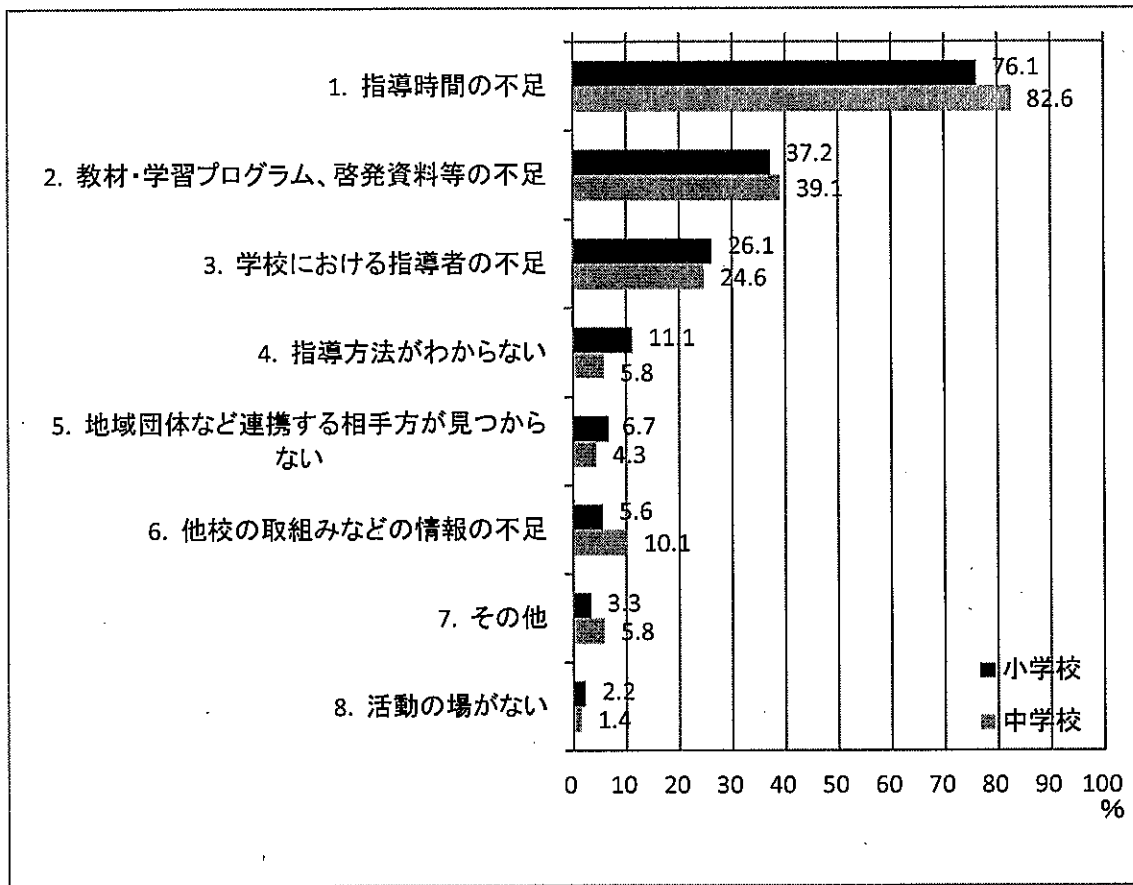
問2 貴校で、平成27年度に実践した環境保全活動や環境教育の分野は主にどのようなものですか。(複数選択可)



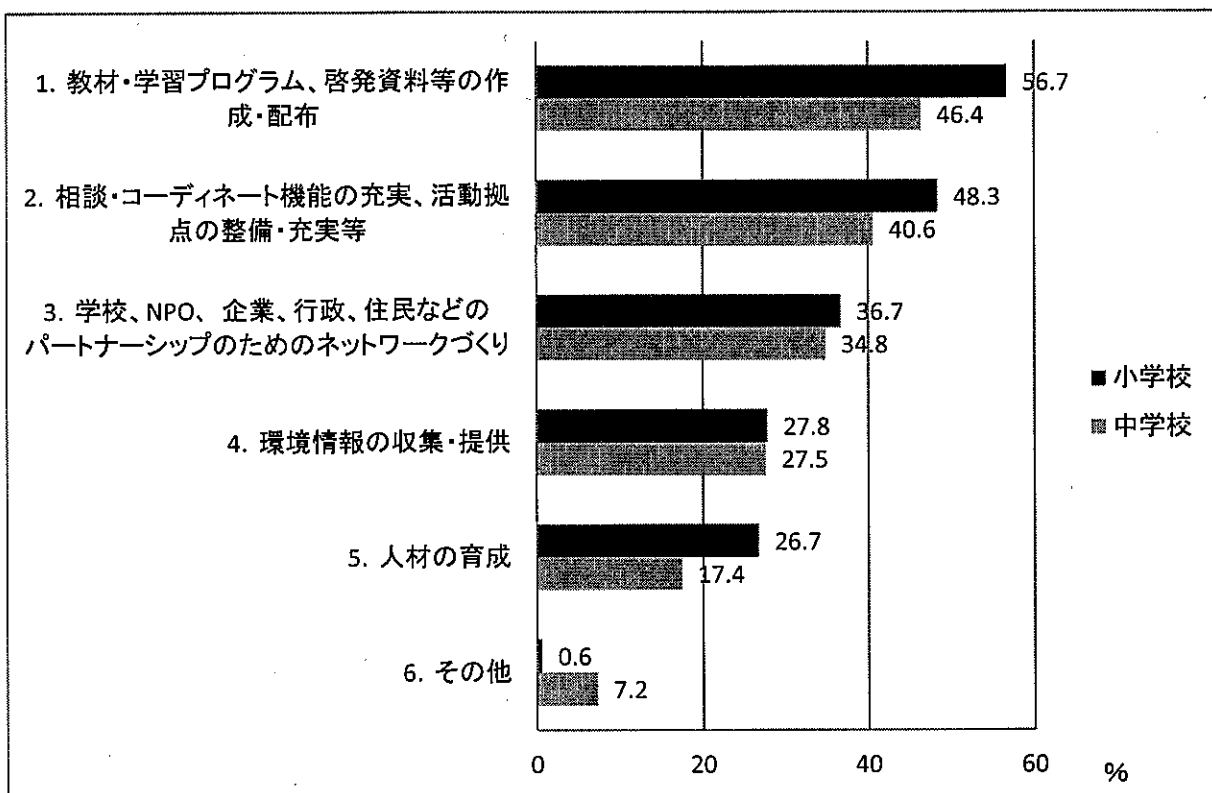
問3 貴校で、平成27年度に実践した環境保全活動や環境教育のうち、特に力を入れているものについて、ご記入ください。(後掲:表中の選択番号は下記のとおり)

- | | | | | |
|---------|----------------|------------|---------|---------|
| 1. 環境全般 | 2. 地球温暖化・エネルギー | 3. ごみ、3R | 4. 環境美化 | 5. 大気 |
| 6. 水質 | 7. 生物 | 8. 森林保全・緑化 | 9. 農業 | 10. その他 |

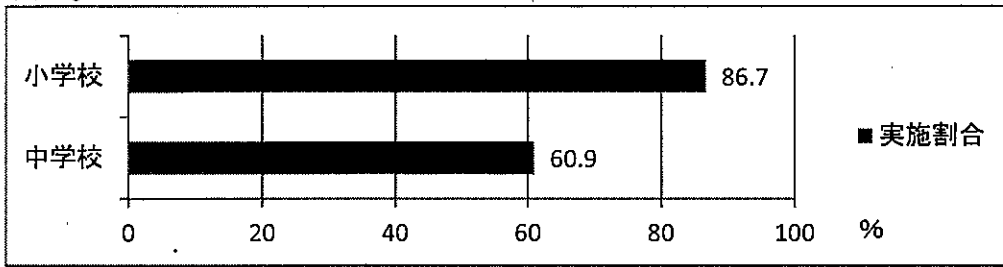
問4 環境保全活動や環境教育を実践する際に課題とされていることは何ですか。(複数選択可)



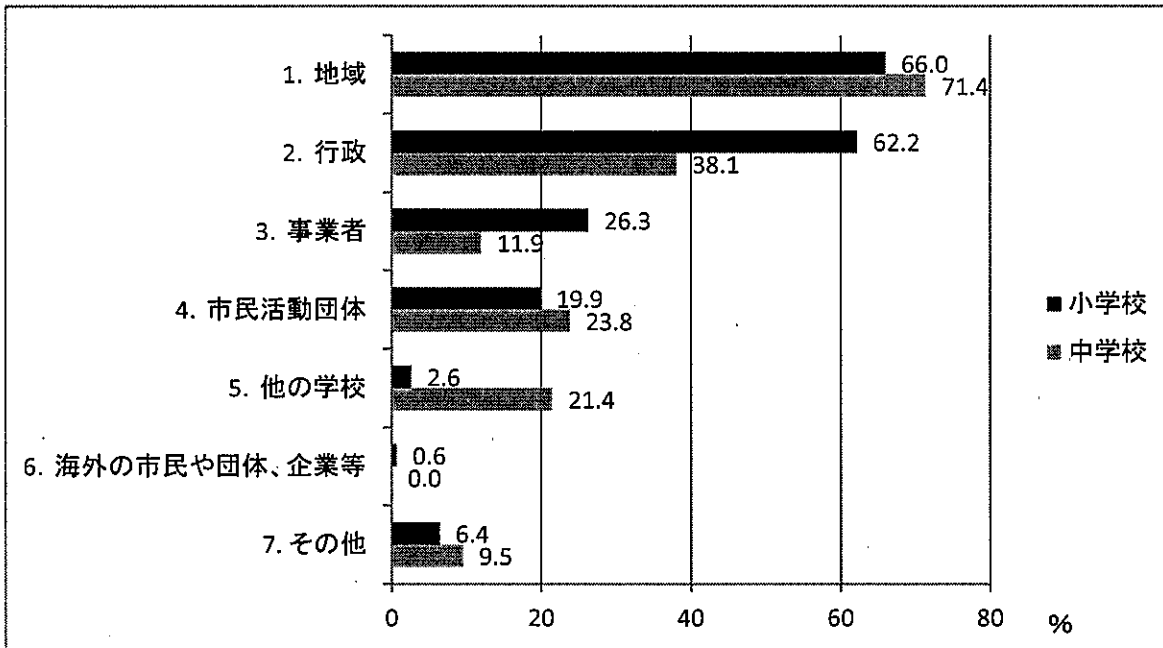
問5 貴校が環境保全活動や環境教育を推進するために県や市町村に支援を期待することは何ですか。(複数選択可)



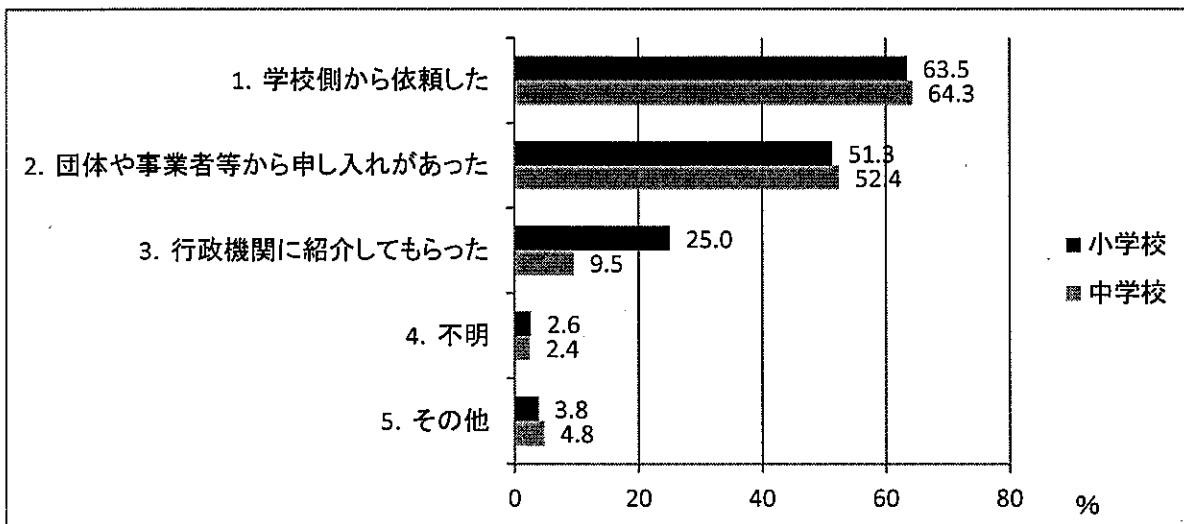
問6 貴校で、平成27年度に、環境保全活動や環境教育を実施する際、団体等と連携をとって行いましたか。



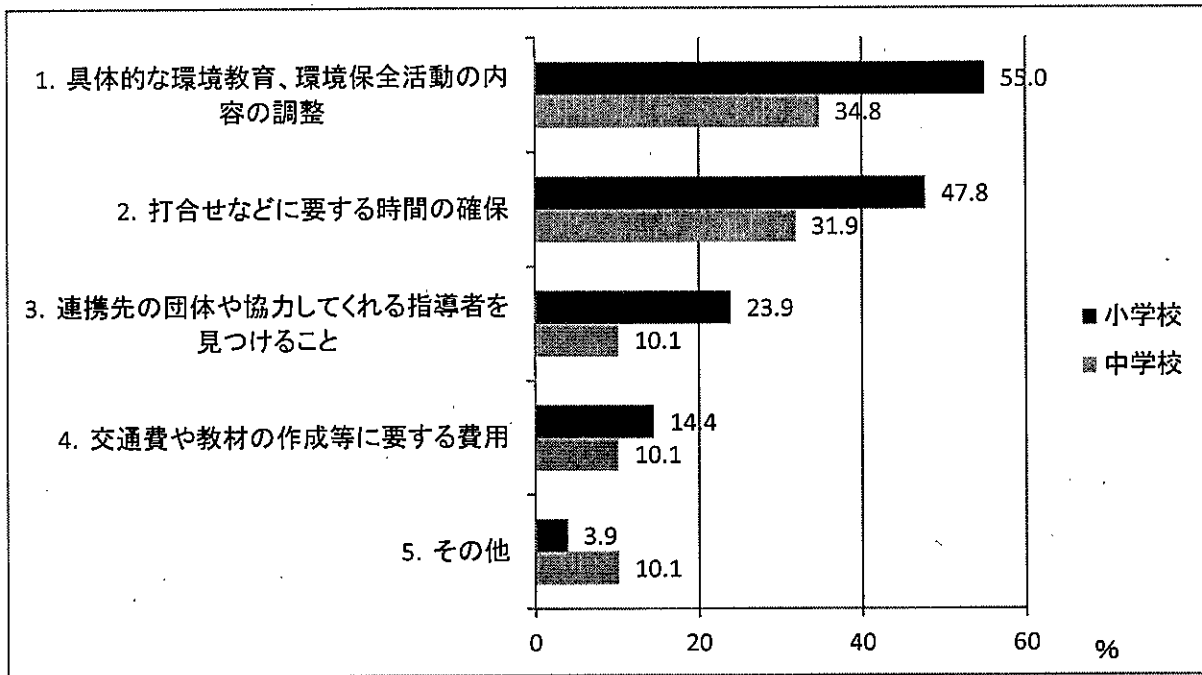
問7 貴校で環境保全活動や環境教育を実践するにあたり連携をとっている相手方はどこですか。(複数選択可)



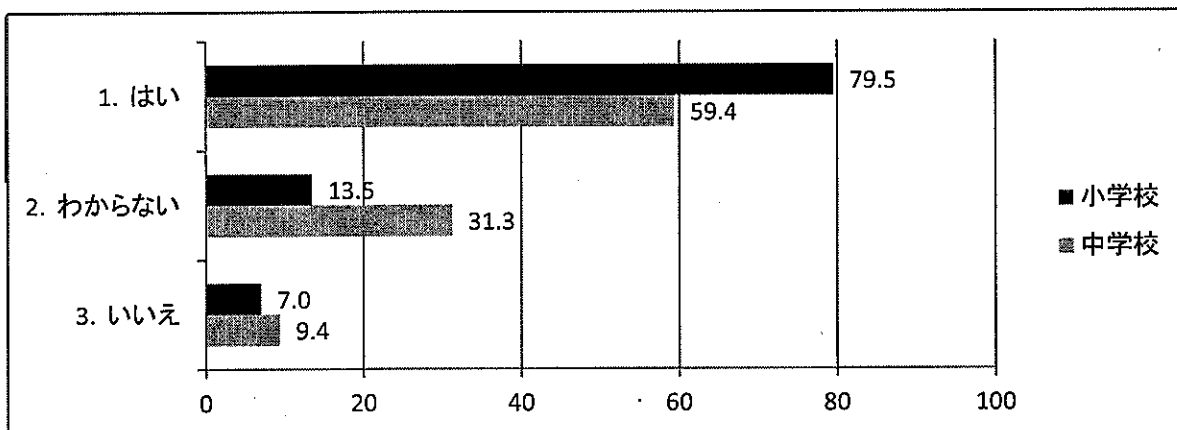
問8 問6で回答した団体等との連携のきっかけは何ですか。(複数選択可)



問9 団体等と連携することによる課題は何ですか。(複数選択可)



問10 団体等と連携して環境保全活動や環境教育を実施されたいと思いますか。



小学校の間3の回答一覧

※No欄は、同一学校から複数の回答があった場合、同じ番号で表示している。

No	選択番号	内容	学年
1	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	1～6年
1	4	地区の清掃ボランティア	3～6年
2	2	とやま環境チャレンジ10、講師の話、家庭でできること実践	4年
2	8	緑化、花壇の整備	委員会、6年
2	4	環境美化、校舎内外の掃除活動	全学年
2	7	サケの採卵見学、稚魚の育成と放流	5年
3	8	校区内森林の保全活動や植樹を地域の方の協力を得ながら行っている。	5、6年
3	10	森林にある植物を使った遊びを地域の方から教えてもらったり、森林内の自然観察を通して環境への意識を高めたりしている。	1～4年
4	4	町の祭りの後に全校で町の清掃ボランティアを地域のお年寄りの方々と実施している。	全学年
4	6	町の自然や特産物を調べる学習の中で、ホタルが生息している川の様子を見たり、調べたりする活動を行い、自然保護に関する意識をもつことができた。	6年
4	9	全校で、学校畑で食物を栽培したり、花壇に花苗植えをしたりしている。隣接する高校生とも花苗植えの交流をし、農作業体験をしている。	全学年
5	2	とやま環境チャレンジ10	4年
7	9	農作業体験	全学年
7	2	とやま環境チャレンジ10	4年
8	8	間伐材皮剥ぎ、笹団子づくり、薪割り	6年
9	3	アルミ缶、牛乳パック、ペットボトルキャップ回収を行った。	児童会・全学年
10	1	神社祭礼でのゴミを新聞紙パックで持ち帰る	全学年
10	3	下水処理場見学	4年
10	4	河川清掃	4～6年
10	6	川の水質調査	5年
10	10	地域の団体の方々と協力し、サケを飼育し鴨川に放流する	4、5年
11	4	毎週火曜日の朝、環境ボランティア委員会の呼びかけで、草むしりや窓ふきのボランティア活動を行った。	全学年
11		親子労力奉仕活動として、草むしりや溝清掃、窓ふき等のボランティア活動を行った。	全学年親子
11	8	植樹祭に向けて、環境ボランティア委員会で、ドングリの苗木を育てた。	環境ボランティア委員会(5、6年)
11	10	全校縦割り班ごとに、サツマイモを栽培した。	全学年
12	3	児童委員会による、毎週金曜朝のアルミ缶回収	1～6年
12	7	水族博物館の学芸員を招いての、学校近隣の河川に棲む水生生物の採取、飼育、観察	5・6年
12	9	地域やPTAの協力による、学校畑での農作業体験(田植え、溝切り、稲刈り、脱穀、おはぎ作り、わら工作、まゆ玉作り)	5年
13	8	とやま森の祭典に参加した。(花とみどりの少年団として)	4年
14	3	ごみ処理施設の見学した。	4年
14	3	ペットボトルキャップを集めたり、整理整頓の仕方の学習の際、リユースの仕方を学習したりした。	5年
14	7	ビオトープを作り、黒メダカを育てている。	5年
14	8	ゴーヤでグリーンカーテンを作った。	2年
14	8	花の苗植え	3年
14	9	りんご摘果、摘み取り作業体験	2年
14	9	田植え、稲の観察会、稲刈り作業体験	5年
15	2	とやま環境チャレンジ10	4年
15	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	全校
16	2	とやま環境チャレンジ10	4年
16	3	ごみ処理施設、下水処理施設の見学	4年
16	3	アルミ缶、ベルマークの回収	全校
16	9	農作業体験	5年
16	4	清掃ボランティア	6年
17	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全校
18	4	海岸清掃ボランティア	全校
18	2	とやま環境チャレンジ10	4年
18	8	グリーンカーテン(コンテスト)	4年
19	2	キッズISOの取組として、各家庭での電気や水道水の使用状況を見直し、省エネルギー、省資源を目指した取組をした	5年
19	3	5月～12月(8月は除く)の間、隔週水曜日の登校時に、通学路のゴミ拾いを行った。全11回実施した。	全学年

20	3	毎週水曜日に、全校でアルミ缶ペットボトル回収を行い、リサイクルの大切さを学んでいる。	1～6年
20	2	夏休み前に環境チャレンジ教室を行い、地球温暖化防止の大切さを学び、自分にできることを休み中に実践。2学期に振り返りを行った。	4年
20	8	宿泊学習の活動の一つとして、森の寺子屋を行った。フォレストリーダーから森林の大切さを学び、周辺の森林の観察を行った。	4年
20	9	学校田がないこともあり、JAの協力を得てバケツ稲の栽培に取り組んだ。米作りの大変さ学び、収穫の喜びを味わった。	5年
22	3	ごみ処理施設の見学する。(燃えるごみ、燃やせない、リサイクル)	4年
22	6	学校の横の川の水質調査を行い、サケの飼育に役立てていく。	5年
22	4	海岸清掃や地域の駅の清掃活動を行う。	4～6年
22	7	サケの受精卵を飼育し稚魚を川に放流している。	5年
23	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
23	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
23	9	農作業体験	全学年
24	9	特産物の栽培	4, 5年
24	9	学校田における米づくり体験	5年
24	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収(委員会活動)	全学年
24	9	バケツ稲の栽培	5年
25	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収等のリサイクル活動	1～6年
26	3	環境委員会の活動として、毎週、ペットボトルキャップ回収活動を行っている。	1～6年
26	8	「森の寺子屋」を通して、森林の役割を学ぶとともに、身近な竹や木の実を用いて木工クラフトづくりを行っている。	4, 5年
26	9	学校花壇づくりや野菜づくり等、異学年交流による栽培活動を行っている。	1～6年
26	9	地域の農家や営農団体の指導の下、稲作体験活動を行っている。	5年
27	3	ペットボトルキャップの回収(委員会活動の一つとして年間を通して)	全校
27	7	ホテルの観察・飼育(地域の方の指導を受けながら)	5年
27	7	イワナ・カジカの放流	5年
27	7	ナメコの植菌	
28	3	毎月、第2週目の水、木にボランティア委員が中心となり、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収を行っている。	全学年
28	3	4学年が社会科「ごみのしよりと利用」の学習の一環で、グリーンセンター、エコタウンの見学を行った。	4学年
28	3	上述の学習の終わりに、行政担当課から講師を招き、3R推進スクールの出前授業を行った。	4学年
29	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
30	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
30	3	アルミ缶回収	1～6年
30	9	稲作体験(種蒔き、田植え、稲刈り)	5年
31	2	「とやま環境チャレンジ10」で地球温暖化について考え、自分や家族でできることに取り組んだ。	4年
32	4	子供たちが清掃したいと思う場所(公園、神社、通学路、民族民芸村等)を進んで清掃活動した	5年、5年親子
35	7	富岩運河、学習支援船乗船体験	4年
	9	米づくり体験	5年
36	2	どのような環境問題があり、自分たちができることは何か一人ひとりが考え、実践した。(節電、節水等)	5年
37	8	森の寺子屋事業による樹木を活用した活動	5年
37	4	ごみ処理や再利用等3Rに関する活動	4年
38	2	とやま環境チャレンジ10	4年
38	3	ごみ処理施設見学	4年
39	3	富山市の3R推進スクールを活用し環境について考え自分たちができることを実践した。	4年
39	3	ボランティア委員会の呼びかけで、アルミ缶・ペットボトルを月に一度回収している。	全学年
39	4	ボランティア委員会の活動として、校区内の地下道清掃を続けている。	5・6年
41	2	総合的な学習のテーマを環境教育とし、課題解決型の学習を行い、資料にまとめて発表した	5年
42	4	地域の環境調査隊として、調査活動や美化活動を行った。また、県道を走るドライバーや校区の人々に呼びかけた。	4年
43	3	年間をつうじて、児童が中心となって、アルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行っており、全校で取り組んでいる。	全校
44	2	とやま環境チャレンジ10	5年
44	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
44	3	ペットボトルキャップ回収	全学年
44	8	森の寺子屋	5年
45	2	とやま環境チャレンジ10	4年
45	3	ごみ処理施設見学 3R推進教室 ペットボトルキャップの回収	4年・全校
46	9	野菜栽培	2～6年
46	3	資源回収、ペットボトルキャップ回収	1～6年
46	4	ふるさとクリーン作戦	1～6年

46	9	グリーンカーテン	4年
46	4	ごみ処理施設見学	4年
47	1	ユネスコスクールとしての取組(ESDパスポート)	4～6年
47	3	毎月、1日と15日をアルミ缶回収日として実施。牛乳パックのリサイクル活動	全学年
47	4	長期休業中に近隣ファミリー活動として町内の清掃。 ちよボラ活動(ちよこつとボランティア)として校区の清掃活動。	全学年
48	3	身近なごみ処理の状況調査、ごみ処理施設見学	4年
49	3	社会科の学習の一環として、ごみ処理場等の見学を行い身近な環境、保全の仕組みを学んだ。	4年
49	9	地域の畑を借りて、地域ボランティアの方の協力を得ながら、生活科の「野菜づくり」の学習の一つとして、サツマイモを育てた。	2年
51	4	全校奉仕活動として、6月に地域の敬老会の方々と地下道清掃に取り組んでいる	全学年
53	9	米作り、野菜(大根、サツマイモ、西瓜、ナス、キュウリ、トマト等)作り、大豆作り	全学年
54	2	とやま環境チャレンジ10	4年
55	3	社会科の学習と連動して総合的な学習でまとめていくこと	4年
56	4	毎週木曜日の朝、登校途中に、通学路でのごみ拾い(クリーン作戦)を行っている。31年続いている活動である。	全学年
57	2	とやま環境チャレンジ10	4年
58	3	3R推進運動	4年
59	2	とやま環境チャレンジ10 身近な環境問題	4年
60	9	学校園で、長寿会の方とサツマイモの栽培や収穫をする。その後、サツマイモを使ってパーティをする。	1, 2年
60	9	学校園で、保育園児との交流活動として、サツマイモの植え付けや収穫をする	4年
60	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
60	1	北代緑地公園についての調査・研究、ファミリーパークでの発表	5年
60	3	ペットボトルキャップの回収	全校
61	4	全校児童による、ごみ拾い活動	全校
61	3	ペットボトルキャップ、ブルタブの回収	全校
61	4	総合的な学習の時間による地域清掃、ごみ拾い活動	6年
61	8	グリーンカーテン	4年
61	9	学校敷地内にあるミニ田んぼで米作り	5年
63	1	ユネスコスクール認定	全学年
63	8	植樹・間伐・ボランティア	4・6年
63	7	カワニナ(ホタルのえさ)放流	3年
66	4	海岸清掃	3・4年
	9	農作業体験	4・5年
67	3	社会科・・・自分の家のごみ調査、クリーンセンター見学 総合的な学習・・・環境教育として、3Rの出前事業	4年
67	4	清掃活動	6年
68	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
68	7	ビオトープ作り、コイ・フナの飼育・観察	1～6年
68	9	稲作体験	5年
69	8	縦割りグループ活動でグリーンカーテンづくりに取り組んだ。	1～6年
69	6	土地改良区と連携し、用水やダムを見学し、地域の環境について学んだ。	4年
69	9	地域と連携し「田んぼの学校」「畑の学校」での農業体験を通して地域の環境について学んだ。	5年
70	2	とやま環境チャレンジ10・・・環境に優しい活動を児童一人一人が実践した。	4年
72	3	アルミ缶エコキャップの回収	全校
72	4	清掃ボランティア	全校
72	7	縦割り活動 プランター花栽培	全校
72	8	グリーンカーテン	2年4年
74	2・3	「すみよいくらしをつくる:環境アップ作戦」 ・世の中の様々な取り組みを知る。 ・身の回りから課題を見つけ、自分にできることを考え実践する。 ・家族に呼びかけて一緒に取り組む。 ・自分の取り組みをまとめ、伝える。	4年
75	3	ボランティア委員会を中心にペットボトルキャップ回収を行った。	全学年
76	9	社会化の学習とも関連させ、稲作体験をしている。	5年
77	2・3	・クリーンセンターを見学し、ゴミの現状について知る。 ・「エコ」をキーワードに、身の回りの「エコ」についての知識を深める。 ・「エコ」に関して自分の取り組むテーマを決め、計画を立て、実践する。また、実践したことをまとめる。	4年生
77	7	・カイコを卵から育て、生命の神秘に気付く。(卵～幼虫～まゆづくり)	3年生
77	10	・バケツで稲を育て、米作りの大変さを学ぶ。(芽出し～種まき～苗の移し替え～中干し～稲刈り～脱穀～もみすり～精米)	3年生

78	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
78	8	グリーンカーテン	1年、4年
79	3	クリーンセンターやリサイクルセンターの見学	3・4年
79	3	エコキャップの回収	5・6年
80	9	農作業体験	全学年
80	2	とやま環境チャレンジ10	全学年
82	4	毎年、5年生の子供たちが地域の祭のごみ箱作りやごみ回収、ごみ拾いなどの美化活動を行っている。	5年
82	8	4年生の子供たちが総合的な学習で、グリーンカーテンを作っている。	4年
82	3	ボランティア委員会が年間を通して空き缶回収を行い、収益金で車いすを購入している	ボランティア委員会
83	9	朝日の特産物スイカ作りを中心とした地域の自然とのふれあい	3, 4年
84	10	イタイイタイ病に関する学習を通して、健康安全面などから環境保全について考え、伝える活動	6年
85	4	夏季休業中のPTA親子清掃 1・2年は地域のクリーン作戦、3～5年はグラウンド整備、6年生は学校裏山の草刈り・草運びに取り組んでいる。学習環境を自分たちで整備する意識を高めている。	全学年
86	3	牛乳パック回収(6年)ビニール袋と一般ごみとの分別(全校)	
86	4	駅及び児童館周辺の清掃活動	5, 6年委員会
86	7	学校の池でのメダカ飼育・観察(5年)、近くの川で鮎放流(3年)	
86	9	学校田、及び畑で米作り(5年)、野菜作り(全校)	
87	8	無花粉杉の植樹や下草の伐採や枝打ち	6年
88	3	社会科の校外学習で、エコタウンと浜黒崎浄化センターを見学する。	4年
88	4	PTA親子環境整備作業に参加し、清掃ボランティアを行う。	5, 6年
88	6	総合的な学習の時間に、学校周辺の川の水質調査を行う。	4年
88	9	総合的な学習の時間に、地域の方の田で、田植え、稲刈り体験を行う。	5年
88	9	全校縦割り活動で、地域の体験農園にてサツマイモの苗植え、収穫を体験する。	1～6年
90	2	とやま環境チャレンジ10・・・地球温暖化の現状を知るとともに自分たちが出すごみの量や電気使用量を調査し、CO2削減のためにできることを実行した	4年
90	8	栽培活動・・・プランターに苗を植え、学校の玄関を花で飾った。 ゴーヤを栽培し、グリーンカーテンを作って夏の日差しを和らげようとした。	1年
90	9	農作業体験・・・大豆を育て、いろいろな食品に加工されることを学習した。 米作り体験を通して、米作りのよさや農家の人々の苦勞、工夫を体感した。	3, 6年
91	3	ごみ・下水処理教室	4年
91	4	清掃ボランティア	全学年
93	4	併設されている中学校と連携し、合同ボランティア活動を実施している。そこでは地域の清掃活動と森林公園の整備を継続している。	5, 6年
94	10	エコツーリズム出前教室 観光協会の方によるマーシャル諸島の現状を通して、環境保全を地球レベルで考える	6年
94	10	用水路施設見学 土地改良区の方による説明を聞きながらのダムや用水路の施設見学	4年
95	2	とやま環境チャレンジ10	4年
95	3	ごみ処理施設の見学 ごみ0やリサイクルの啓発	4年
95	4	通学路のごみ拾い	全学年
96	4	清掃ボランティア・・・登校中に地域のごみを拾う。	1～6年
97	2	行政担当課より、エコツーリズムについての話	5年
97	3	クリーンセンター見学	4年
97	4	年3回親子で通学路のごみ拾い(環境美化活動)	全学年
97	9	学校田でもち米作り	5年
98	8	しいたけ・なめこ栽培教室	1・4・5・6
99	10	立山・黒部ジオパークの見どころの一つである、大岩山日石寺周辺の自然等の観察と子供が捉えたよさや自慢についての広報活動	4年
100	3	クリーンセンターや環境センター等の施設の見学	4年
100	3	ペットボトルキャップ回収	全学年
100	8	森の寺子屋事業の参加	5年
101	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭でのエコ活動を調べ、環境を守ることに関心をもつ。 ・環境センター、ごみ処理施設、下水処理施設を見学する。 ・地球温暖化について図書資料やインターネットで調べる。 ・環境推進委員の方から話を聞き地球温暖化とエコ活動について理解を深める。 ・自分で決めたエコ活動に取り組む。 ・エコ活動を実践して学んだことを新聞やVTRにまとめて発表する。 	4年

102	9	こんにやくづくり、野菜づくり	4年、1～6年
102	3	上下水道見学、アルミ缶等の回収	4年、1～6年
103	3	富山広域圏グリーンセンター、工場見学	4年
103	9	学校田での稲作体験	5年
104	9	[米作り]種もみまきから精米までの作業(4, 5年)田植え稲刈りは全学年	
104	9	[しいたけの菌打ち]原木に穴を開けしいたけの菌を打つ	4年
105	6	常願寺川の水質調査	4年
105	7	常願寺川の生き物調査、黒谷川の生き物調査	3・4年
105	9	畑でさつまいも栽培、各学年で野菜等栽培	全学年
106	3	アルミ缶、ペットボトルの回収	全校
106	2	総合的な学習の時間で、環境チャレンジ10に取り組んだ。	4年
107	7	絶滅危惧種トミヨの保護活動	5年
107	2	環境チャレンジ10	4年
108	4	清掃ボランティア	5, 6年
109	7	ホタルの幼虫の飼育	5年
109	8	海の森づくり(アマモ苗の育成)	4年
109	2	とやま環境チャレンジ10	4年
110	1	総合的な学習の時間「地球の未来を考えよう(環境)～Eco～」というテーマで、取り組んだ。	5年
110	2	とやま環境チャレンジ10に取り組んだ。	4年
110	3	年間を通して、アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
110	4	夏休みに親子で海岸清掃を行っている。	全学年
111	8	グリーンカーテン	全校・栽培委員会
111	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全校・企画運営委員会
112	7	ホタルの観察・飼育	5, 6年
112	3	ペットボトルキャップ回収	全学年
112	9	農作業体験	全学年
113	3	ごみ処理施設の見学	4年
114	3	ごみ処理施設見学、リサイクルに関する企業見学	5年
115	4	清掃ボランティア(学校前通学路、地下道)	6年
115	8	グリーンカーテン(アサガオの世話、苗植え、水やり)	4, 5, 6年
116	2	地球温暖化について調べ自分たちでできることを実践した。	4年
117	3	アルミ缶回収(毎週実施)	全校
117	4	清掃ボランティア(秋の落ち葉清掃)	全校
118	3	アルミ缶の回収	全校
118	3	ごみ処理施設、下水処理施設の見学	4年
118	4	落ち葉はき	全校
119	3	下水処理施設の見学	4年
119	3	アルミ缶回収	全校
120	2	企業ISO、節電	4, 5年
120	4	清掃ボランティア(落ち葉はき)	全学年
120	8	森の寺子屋	5年
120	3	アルミ缶回収	全学年
121	2	とやま環境チャレンジ10を4年生が総合で学習。	4年
121	3	毎月1, 2日のアルミ缶、エコキャップ回収デーに、ボランティア委員が回収	全学年
122	2	家庭でのCO2を減らす取組を考え、実際に行ってみた。その後、節電やごみの減量等、自分たち にできる地球温暖化防止策について全校児童に呼びかけた。	5年
123	10	総合的な学習の時間 ふるさと万葉の環境保全活動に主体的に取り組む。	4年
124	2	とやま環境チャレンジ10	4年
125	3	テトラパック回収	1～6年
125	4	海岸清掃	1～6年
126	3	社会科の学習の一環として、ごみ処理施設の見学	4年
126	3	児童会の呼びかけによるアルミ缶回収、いねむりはがき回収	全学年
126	4	夏季休業中、親子奉仕活動で通学路のごみ拾い	全学年
126	9	総合的な学習の時間に田植え、稲刈り体験	5年
127	9	JAと協力し地域の特産物の収穫を体験している	3年
128	1	環境保全について担任が説明した後、5月の連休に環境月間ポスターに取り組んだ。	全学年
128	8	地域のJAさんに協力していただき、学校農園で夏野菜、冬野菜を育て収穫する農作業体験を行っている。	全学年

128	9	栽培委員会が中心となって、校舎南側にグリーンカーテンを作っている。	4・5・6年
129	2	とやま環境チャレンジ10	4年
130	2	地球温暖化について調べ、家庭、地域でできること等を考え、実践した。	4年
131	3	アルミ缶回収	全校
131	2	とやま環境チャレンジ10	4年
132	4	海岸清掃	全学年
134	9	地域の方を講師とし、田植え、稲刈り、芋苗植え、芋掘りを行った	田(4・5年)、芋(全校)
134	3	総合的な学習の時間に環境について学習し、リサイクル等に取り組んだ	4・5年
135	7	水生生物調査	4年
136	2	とやま環境チャレンジ10	4年
137	9	全学年でリレー方式による米作り(田植え2・3年、もちろしがし5年稲刈り4年、稲運び1年、脱穀6年)	全学年
138	2	「とやま環境チャレンジ10」で実践し学んだことから作成した資料をもとに他学年への発表を行った。	4年
138	3	児童会が中心となり、全校に呼びかけ、アルミ缶回収を行った。	全学年
138	7	地域が主催するホタル観察会への参加を呼びかけた。	全学年
138	8	エコ活動の一環としてグリーンカーテンづくりに取り組んだ。	4年
139	3	アルミ缶回収	全校
139	4	町別児童会による地区の清掃活動	全校
139	9	大根の播種と収穫	2, 5年
140	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ、資源回収	全学年
140	4	清掃ボランティア	全学年
141	3	環境チャレンジ10、牛乳パックのリサイクル	4年
141	7	ビオトープづくり	5, 6年
141	8	小枝ボールペンづくり	4, 5, 6年
142	7	ホタルの観察、飼育(幼虫)	3年
142	2・3	とやま環境チャレンジ10、下水処理場、ごみ処理施設の見学	4年
142	8	森の寺子屋(鳥の巣箱かけ)、森林教室(里山の働きについて学ぶ)	5年
142	9	農作業体験(田植え・稲刈り)	4～6年
143	10	地球温暖化防止を呼びかけるために、ポスター、新聞、チラシをつくり、地域に配付したり掲示したりした。	4年
144	2	環境チャレンジ10	4年
144	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	1～6年
144	3	ごみ処理施設・下水処理施設の見学	4年
145	7	ジャコウアゲハの飼育、観察	3年
146	2	とやま環境チャレンジ10	4年
146	3	ごみ処理施設の見学	4年
146	3	ペットボトルキャップの回収(全学年)・牛乳パックの回収(4年)	全学年・4年
146	6	川の見守り隊	4年
146	7	ビオトープ作り、川の生き物調査、ホタルの飼育・観察	4年
147	2	とやま環境チャレンジ10	4年
148	2	講師から教えていただいたことを手がかりとして、自分たちができるエコ活動を考え全校児童に呼びかけて取り組んだ	4年
149	2	とやま環境チャレンジ10	4年
149	3	ごみ処理施設の見学	4年
149	4	清掃ボランティア、海岸清掃	全学年
150	3	全校に呼びかけペットボトルキャップを回収した。	4年
151	2	とやま環境チャレンジ10の実施、学習発表会での成果の発表	4年
151	3	道の子委員会(児童会)によるエコキャップの収集活動	全学年
152	3	アルミ缶回収	全校
153	2	とやま環境チャレンジ10	4年
154	3		全学年
155	2	環境チャレンジ10、環境教室	4年
155	3	施設見学	4年
155	9	米やねぎの栽培	3, 5年
155	10	学校花壇づくり	全校
156	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	全学年
157	3	ごみ処理施設の見学	4年
157	3	アルミ缶の回収	全学年
157	4	清掃ボランティア	6年

157	8	アサガオのグリーンカーテン	1年
158	3	アルミ缶回収	全学年
158	7	トンボ池の環境保全及び繰り返し観察	3, 4年
159	4	海岸の環境保全	4年
160	2	とやま環境チャレンジ10	4年
160	9	農作業体験	5年
161	6	地域の川の調査を行い、イタセンパラの生態や環境について調べる	5年
161	7	学校のオニバス池でオニバスを育てている。	4年
161	7	学校の大型水槽で学芸員の指導を受け、イタセンパラを飼育している。	5年
162	9	学校田での稲作体験	1~6年
163	4	地域清掃活動	全学年
164	4	清掃ボランティア	4~6年
164	3	アルミ缶回収	全学年
165	2	とやま環境チャレンジ10	4年
165	3	アルミ缶回収	全学年
165	4	清掃ボランティア(通学路清掃)	全学年
165	7	学校の付近の川の水生生物調査	4年
165	9	農業体験(田植え、稲刈り)	5年
166	9	田植えや稲刈り、脱穀等の農作業体験	5年
167	4	海岸清掃	1~6年
167	7	アマモの栽培、川の魚の調査	3・4年
168	2	地球温暖化の理解、節電、節水の取組み(総合的な学習)	4年
168	3	ごみ処理施設、上水場の見学(社会科)	3年
168	3	アルミ缶回収回収(児童委員会)	全学年
168	9	稲作の体験的な活動(総合的な活動)	5年
168	8	森の寺子屋(MY著作体験学習)	5・6年
169	2	とやま環境チャレンジ10	3・4年
170	2	電気教室	全学年
170	4	地域の祭り等において清掃ボランティアを行った。	5・6年
170	7	水生生物調査、水質調査	3・4年
170	8	花とみどりの少年団でとやま森の祭典に参加した。	5年
170	8	グリーンカーテン設置	全学年
171	3	ボランティア委員会によるアルミ缶回収	全学年
171	4	祭前の寺院周辺における清掃ボランティア	全学年
171	7	絶滅危惧類 ギフチョウの飼育・放蝶	3~4年
171	9	もち米の無農薬栽培	5年
172	9	稲作体験、かぼちゃ栽培	5年
173	1	ユネスコスクールへの申請、ESD研修会	全校
173	2	環境チャレンジ10	4年
173	8	グリーンカーテンを近隣高校と共同で行った。	委員会
174	3	4年社会科「ごみはどこへ」の学習(自分にできることを考え実行)	4年
174	3	ボランティア委員会によるアルミ缶回収	5~6年(全校)
175	3	アルミ缶回収	全学年
175	2	地球温暖化・エコ活動	4年
176	9	地域の方の協力を得て、親子で農作業体験をする。	全学年
177	4	祭礼の次の日の早朝に駅前周辺のごみ拾い活動	全学年
177	7	ピオトープでのホタルの放流と観察(4年総合的な学習の時間、ピオトープクラブ)	4~6年
177	3	アルミ缶回収(児童委員会活動)	全学年
177	3	クリーンセンターや下水処理場、浄水場の見学	4年
177	2	とやま環境チャレンジ10の実施	4年
178	1	環境月間ポスターの掲示	
178	9	バケツ稲の栽培 田植え 稲刈り	5年
178	3	4年ごみ・下水処理施設見学 全学年 アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	1~6年
178	5	星空観察	4年
178	8	グリーンカーテン	
179	2	とやま環境チャレンジ10	4年
179	3	クリーンセンターの見学	4年

179	9	田植え、稲刈り体験	5年
180	3	月2回のアルミ缶回収	全学年
180	4	小矢部川下流海岸の清掃体験 地域の公民館等の草むしり、清掃(夏季休業中 各地域で)	4年 全学年
180	8	苗木のホームステイ 森の寺子屋「My箸づくり」	5年、5年親子
181	9	地域の方と連携した米や野菜づくり体験	全学年
182	8	植樹、間伐材の伐採、炭焼き体験	6年
182	8	巣箱作り、巣箱設置	5年
182	7	レッドデータ研修会	6年
182	9	田植え、稲刈り体験	5年
183	8	グリーンカーテン	全校
183	3	アルミ缶回収	全校
183	4	清掃ボランティア	全校
183	9	農作業体験(稲作・サツマイモ作り)	4, 5年
184	2	とやま環境チャレンジ10 CO2削減活動	4年
185	2	とやま環境チャレンジ10、地球温暖化・エネルギーの学習会	4年、1～6年
185	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	1～6年
185	4	清掃ボランティア	1～6年
185	9	農作業体験	2, 3, 4, 5年
186	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
187	10	地球温暖化等の学習会を行い、長期休業中に家族とともにエコ活動を実施する。	4年
189	3	アルミ缶回収	全学年

「小学校」のその他の意見一覧

No	その他の意見
9	よいことだと思うが、現在の学校の計画に合わせて実施するので十分である。
12	活動や学習は充実していて伝統的に受け継がれている。
19	学校では、大変多くの教育活動を行っているので、新規活動を増やしていけない。現在の活動を見直しながら環境保全という視点から教育活動や教育指導を進めることで効果を上げられると思う。
20	子供たちや教員の負担が大きくなりすぎないように配慮しながら、環境保全活動や環境教育を進めていく必要がある。
23	教えていただく内容の難易度が高く、理解が難しかった。内容について事前に打ち合わせを行う必要がある。
29	実施したいと思うが、時間の制約があり難しい。
46	活動の成果等の実感が難しい場合がある。
55	学校教育には「〇〇教育」として多様な内容が求められています。環境教育も大切だとは分かっているが、諸団体等からのモデル校指定は、今後検討していただきたい。
75	平成28年は、森の寺子屋やとやま環境チャレンジ10の活動に取り組みました。
78	学校での指導内容が多く、全てのテーマに対応した教育活動は難しい。教科(社会科、総合)等で扱う内容程度しか取り組めないのが現状である
91	指導時間の確保が難しい。
106	内容が児童の実態に合わない、時間の確保がむずかしい。
115	今後も、継続して取り組みたいと思います。
118	平成28年度から、環境教育に力を入れはじめた。今後も続けていきたいと考えている。
120	森の寺子屋については、子供たちが毎年楽しみにしています。
122	団体等の指導者が具体的でわかりやすく、興味関心を高める指導をしてくださり、大変良かった。
123	環境問題は、喫緊の課題であり、児童の意識を高めるためにも継続していきたい。
133	多様な教育活動を実施しており、現状でも環境教育を行っていると思われるから。
134	すでに行っているため、これ以上は必要がない。 環境教育を行い、子供たちの「環境を大切にしていかなければならない」という意識を高めていくことは、非常に重要なことだと思うので、積極的に行っていきたい。
146	子供に分かりやすいもの、生活に結び付いたもの。
162	地域と連携した活動に重点を置いている。その他に環境教育を実施する余裕がない。
175	報告書の作成等、負担が大きくなりそう。
178	平成28年は、4年生がとやま環境チャレンジ10に取り組み、環境に対する意識が高まりました。
188	すればよいと思うが、教科指導の時間で手がいっぱい。

中学校の間3の回答一覧

※Noは任意の学校番号。同一学校から複数の回答があった場合、同じNoで表示

No.	選択番号	内容	学年
1	4	SMC(サマー・モーニング・クリーン)活動、祭り後の清掃ボランティア	全学年
1	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
2	3	資源回収	全学年
3	3・4	生徒会活動の一環として海岸清掃やアルミ缶等の回収を実施し、環境を守ることの大切さや資源の有効活用について学習している	全学年
4	4	6月の祭礼後の清掃ボランティア 生徒会中心となって実施	全学年希望者
5	3	校区全域におけるアルミ缶、古新聞、ダンボール等の回収を親子で実施	全学年
5	4	部活動単位で地域の海岸や学校周辺の清掃ボランティアを実施	全学年
6	4	海岸清掃	全校
7	3	ペットボトルキャップの回収	全学年
7	3	資源回収	全学年
7	4	マラソン前日清掃ボランティア	全学年
9	3	ペットボトルキャップ回収	全学年
9	4	清掃ボランティア	全学年
10	10	イタイイタイ病資料館見学による環境教育	2年
12	4	校地周辺の美化活動	全学年
13	3	ペットボトルキャップの回収	全学年希望者
13	10	「フラワーロード作戦」に参加	全学年希望者
15	3	生徒会、福祉委員会の活動として、ペットボトルキャップ、プルタブを回収し、車椅子やワクチンを送る活動を行っている。	
16	3	生徒会ボランティア委員会によるペットボトルキャップ回収	全学年
16	4	PTA・生徒参加の海岸清掃	1～3年希望者
19	4	公園清掃ボランティア(年4回)	全学年
21	4	毎年、海岸のゴミ拾いを全校生徒で行っている。	全学年
22	7	ファミリーパークでの理科特別事業 生物とその生息する環境等について体験型の学習を行う	2年
22	9	近隣高校での理科特別事業 農業(稲作、畜産、バイオ等)を通して、生命のつながりと環境について体験を通して学ぶ	3年
23	3	・アルミ缶・ペットボトルキャップ、インクカートリッジの回収 ・制服、柔道着のリユースによる販売	全校・PTA
24	4	河川敷清掃	全学年
25	9	サツマイモの栽培	1, 2年
26	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
26	4	清掃ボランティア	全学年
27	3	ペットボトルキャップ回収	
29	7	毎年、地域の川や校内の池の水生生物の調査を行い、環境について考えさせている。	科学部
30	4	各学期に1度ずつ校内および校区の駅周辺の清掃美化活動。有志の者で祭の会場の美化活動	全学年
31	3	ペットボトル、ペットボトルキャップの回収	全学年
31	4	清掃ボランティア	全学年
32	3	総合的な学習で班ごとに環境をテーマにした施設見学	1年
34	3	アルミ缶回収	
37	4	祭礼後の清掃活動	
38	8	花壇(花があふれる、校庭づくり)	全学年
39	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
39	4	清掃ボランティア	全学年
40	4	神社祭礼後の清掃ボランティア活動	1～3年希望者
41	3	ペットボトルキャップ回収、資源回収活動	全学年
41	4	地域の清掃ボランティア(海岸、観光施設、運動公園)	全学年
41	7	ビオトープの保全	全学年
41	10	総合的な学習で学年統一テーマとして環境を取り上げている	1年
42	4	地域清掃ボランティア	全学年
44	3	ペットボトルキャップの回収を生徒会が中心となって積極的に取り組んでいる。	全学年
45	4	校区内の清掃ボランティア	全学年
46	4	清掃ボランティア活動	全学年
47	3	ペットボトルキャップの回収。回収キャップの一部でキャラクター絵を学校祭で制作。	全学年
47	4	海岸清掃。4会場の海岸清掃ボランティアに参加	全学年
48	8	学校林下草刈り	全学年
49	4	校区のゴミ拾い、除草	3年
50	4	駅周辺の清掃ボランティアで30年以上続いている活動	全学年
51	4	地域の祭り期間中、生徒会で清掃ボランティアを企画し、全校生徒で地域清掃を行った。	全学年
51	8	学校花壇に1万球のチューリップを植え、花あふれる学校づくりに尽力した。	全学年
52	3	生徒会活動として校内、地域でのペットボトルキャップの回収	全学年
52	7	科学部によるホタルの観察・飼育	全学年
53	4	清掃ボランティア	全学年

中学校の間3の回答一覧

※Noは任意の学校番号。同一学校から複数の回答があった場合、同じNoで表示

No.	選択番号	内容	学年
53	8	グリーンカーテン	全学年
54	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
54	4	清掃ボランティア	全学年
55	4	生徒会が主催するクリーン作戦 ・校区内にある施設の清掃活動を行っている。	全学年
55	10	生徒会が主催する資源回収 ・校区内全世帯を対象に生徒による再生資源の回収を行っている。	全学年
56	4	生徒会環境委員会が中心となり、全校生徒に呼びかけ、駅や校区にある公園を清掃する活動を行った。	全学年対象
57	3	アルミ缶回収	全学年
57	4	清掃ボランティア	全学年
58	9	コシヒカリ、モチ米を4月に植え、9月下旬に刈り取りを行い、収穫した米は、被災地に毎年贈っている。	3年
59	3	JRC委員会主催のアルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
59	4	地域清掃、海浜清掃	全学年
59	9	田植え、稲刈り	1年
60	4	小・中合同環境美化活動(祭礼後の清掃活動)	1～3年
60	3	アルミ缶回収	1～3年
61	3	アルミ缶の回収	全学年
61	4	校内の清掃ボランティア	全学年
61	10	環境全般に関するポスターの制作	全学年
62	3	アルミ缶の回収	全学年
62	4	校区内道路のごみ拾い	2年
63	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	1, 2, 3年
64	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	1, 2, 3年
64	4	地域清掃ボランティア、海岸清掃	1, 2, 3年
64	9	みかん収穫体験	1年
65	3	生徒会が中心となって、アルミ缶回収を年間3回行った。	全学年
65	4	学校近くの海岸清掃を45年以上続けて行っている。	全学年
66	3	校区内のアルミ缶回収	全学年
66	4	地域清掃ボランティア、不動滝清掃ボランティア	全学年
67	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	全学年
67	9	サツマイモの苗植え体験、収穫	1, 2年
68	3	生徒会によるペットボトルキャップ、書き損じハガキの回収	全学年
68	7	理科・地域講師を招へいして地域の植物の観察	全学年
68	10	ネイチャーテクノロジーの専門家による講演	全学年
69	10	イタイタイ病資料館見学	3年
70	4	清掃ボランティア	全学年
71	4	地域の祭の翌日、毎日の清掃(ごみ拾い)を全校で行っている	全学年
72	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ、牛乳パック回収	全学年
72	4	地域のゴミ拾い清掃	全学年
73	3	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	全学年
73	3	清掃ボランティア	全学年
74	4	清掃ボランティア	全学年
75	3	ペットボトルキャップの回収	全学年
75	4	社会福祉施設の清掃ボランティア	全学年
75	9	農作業体験	特別支援級
76	3	ペットボトルキャップ回収	全学年
76	4	地域清掃ボランティア	全学年
77	3	毎週火曜日の朝に生徒会ボランティア委員会がアルミ缶回収を行っている。また、年に3回PTA行事としてアルミ缶回収を実施している。	全学年
77	4	毎月10日、20日、30日の「〇」の付く日に生徒会主催で校舎内外の環境整備活動を行っている。生徒の取組の様子等について放送等で紹介し、進んで環境整備に取り組む生徒の育成を目指している。	全学年
77	4	夏季休業中に、生徒会主催でボランティア活動を行っている。地域の公共施設や老人福祉施設、保育所等を訪問し、草むしりや窓拭き等の清掃活動を行い、地域の方から好評を得ている。	全学年
77	3	毎年夏休みの休日の朝(6:00～8:00)に、PTAと生徒と一緒に地域から集めた廃品を回収する実践を行っている。地域から出た酒瓶、段ボール、古紙等を回収し、リサイクル、リユースに取り組んでいる。	全学年
78	4	地域で祭りなどが行われた翌朝に、清掃ボランティア活動を行う	全学年
79	3	ペットボトルキャップの回収	全学年
80	3	アルミ缶・ペットボトルキャップの回収	1, 2, 3年
81	4	公共施設の清掃(自分で選ぶボランティア)	1, 2, 3年

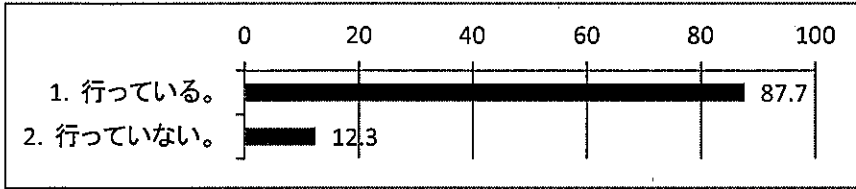
「中学校」のその他の意見一覧

No	その他の意見
1	活動の充実を図りたいが、時間の確保が難しい。
4	清掃が環境保全といった意識がないまま実施されている。
5	傷病や事故が発生した場合の保険。
9	現段階では十分な時間が確保できないため。
15	学校の授業の中で活動することが難しい。
39	総合的な学習の時間に、1年生が環境学習を行っている。
41	今後も生徒会活動や総合的な学習の時間などを利用しながら、学校教育活動の枠組みの中でバランスを取りながら継続していきたい。
46	学校現場への持ち込み行事が増加しないよう配慮願いたい。
52	中学校では、「環境教育と教科、領域との関連」について、教職員の共通理解を図ることが、環境教育の推進にあたって有用ではないかと考えています。
58	現在の連携で十分である。新たな連携の必要はない。
67	時間が限られているため、学校が自ら積極的に活動を行うことは難しい。行政等が間に入るなどのきっかけがあれば、もっと多くの活動ができると思う。
77	団体等と連携して環境保全活動や環境教育を実施したいと回答しましたが、中学校では、授業の他に生徒会活動、部活動、地域行事等、生徒も教員も多忙を極めています。そのような中、生徒が主体的に企画し、実践する環境保全活動や環境教育となるように内容や実施回数を精選して行っていく必要があると思います。

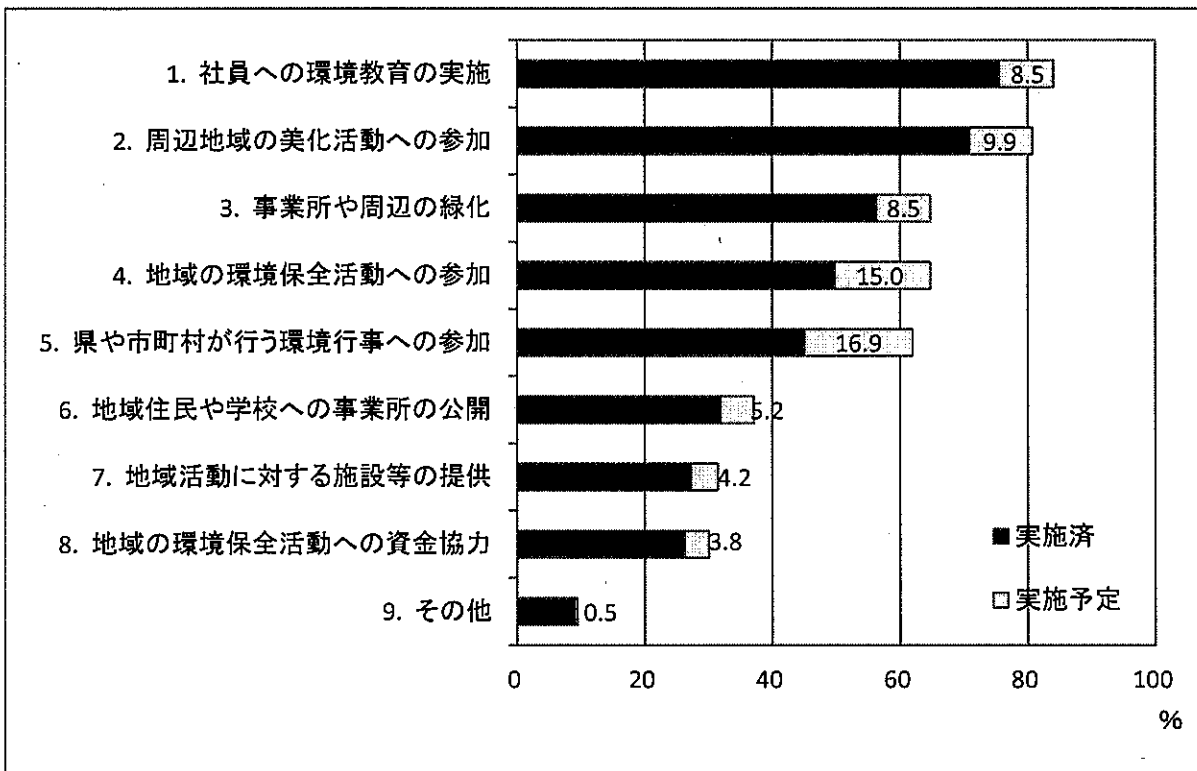
「環境教育・環境保全活動・協働取組み」に関する アンケート調査結果(企業)

回答数:247事業所/508事業所

問1 貴事業所では、平成27年度に、環境保全活動を行いましたか。(1つ選択)



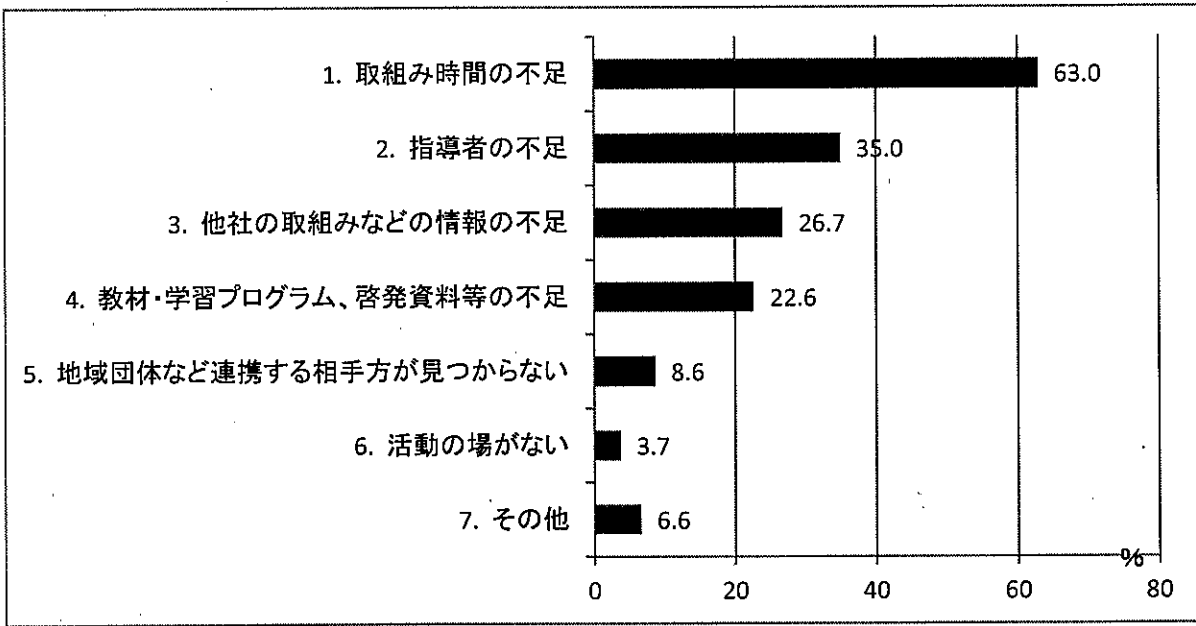
問2 貴事業所では、環境の保全活動としてどのような取組みを実施していますか。また、今後、実施しようと考えていますか。(それぞれの項目について、1つ選択)



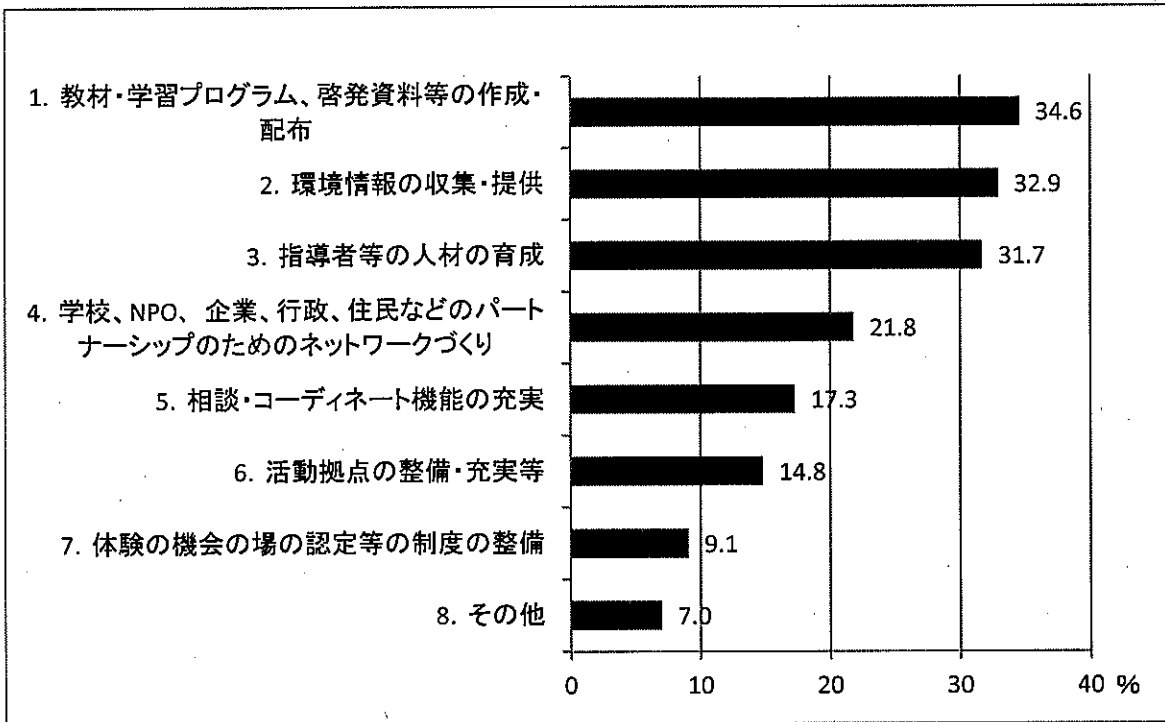
問3 貴事業所で、平成27年度に実践した環境保全活動のうち、特に力を入れているものについて、ご記入ください。(後掲:表中の選択番号は下記のとおり)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 社員への環境教育の実施 | 2. 周辺地域の美化活動への参加 |
| 3. 県や市町村が行う環境行事への参加 | 4. 事業所や周辺の緑化 |
| 5. 地域の環境保全活動への参加 | 6. 地域の環境保全活動への資金協力 |
| 7. 地域住民や学校への事業所の公開 | 8. 地域活動に対する施設等の提供 |
| 9. その他 | |

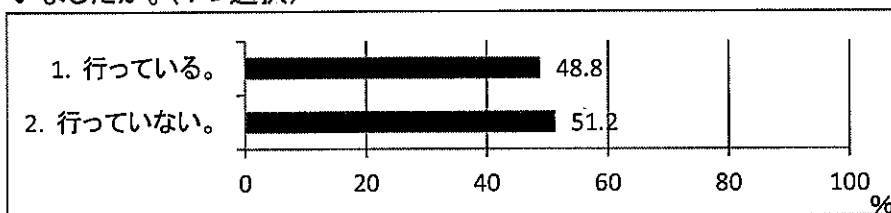
問4 環境保全活動や環境教育を実践する際に課題とされていることは何ですか。(複数選択可)



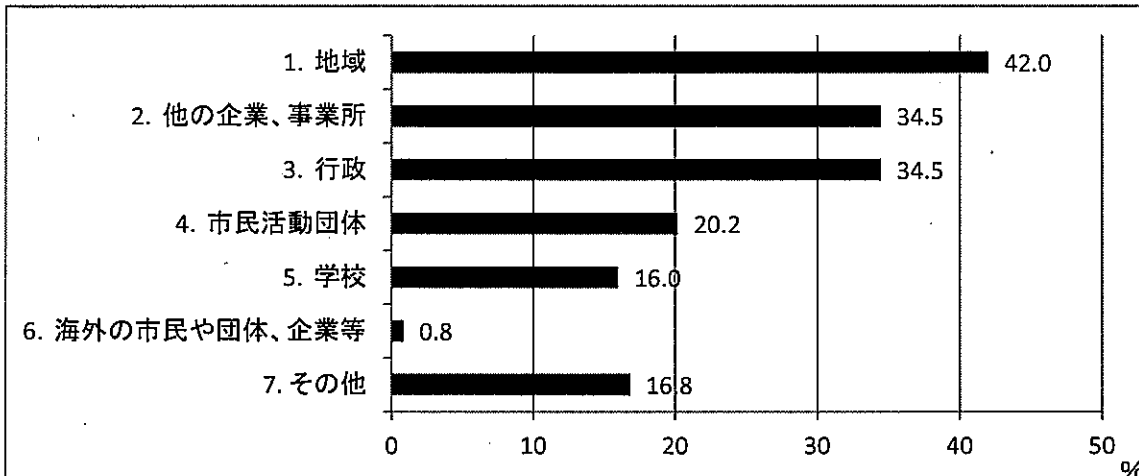
問5 貴事業所が環境保全活動や環境教育を推進するために県や市町村に支援を期待することは何ですか。(複数選択可)



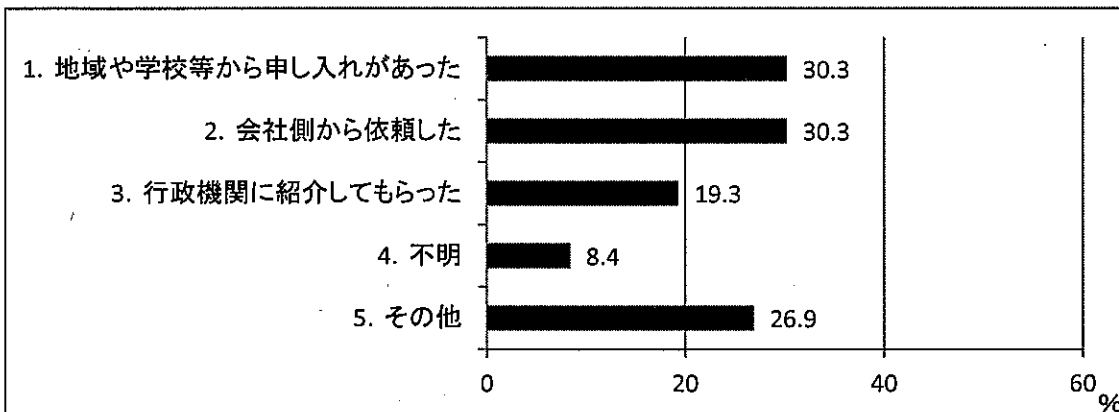
問6 貴事業所で、平成27年度に、環境保全活動や環境教育を実施する際、団体等と連携をとり行いましたか。(1つ選択)



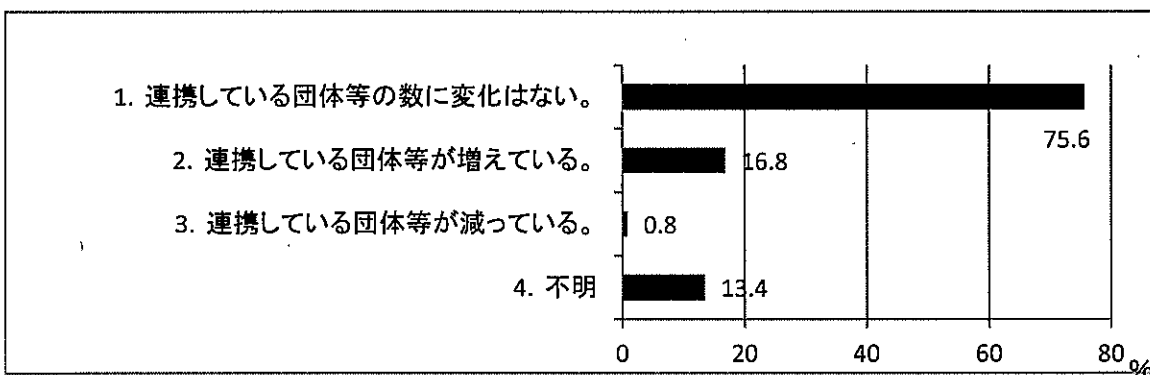
問7 貴事業所で環境保全活動や環境教育を実践するにあたり連携をとっている相手方はどこですか。(複数選択可)



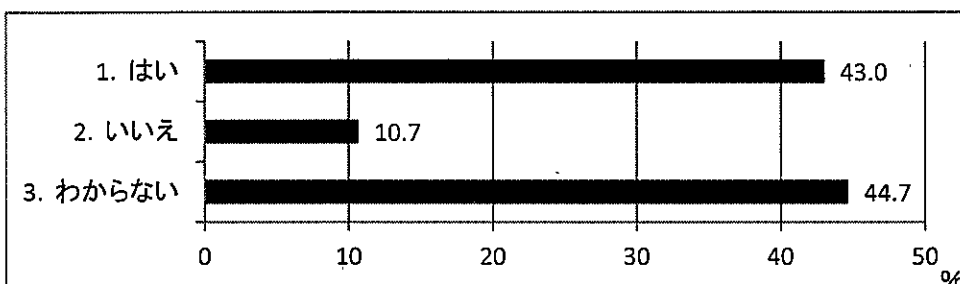
問8 問7で回答した団体等との連携のきっかけは何ですか。(複数選択可)



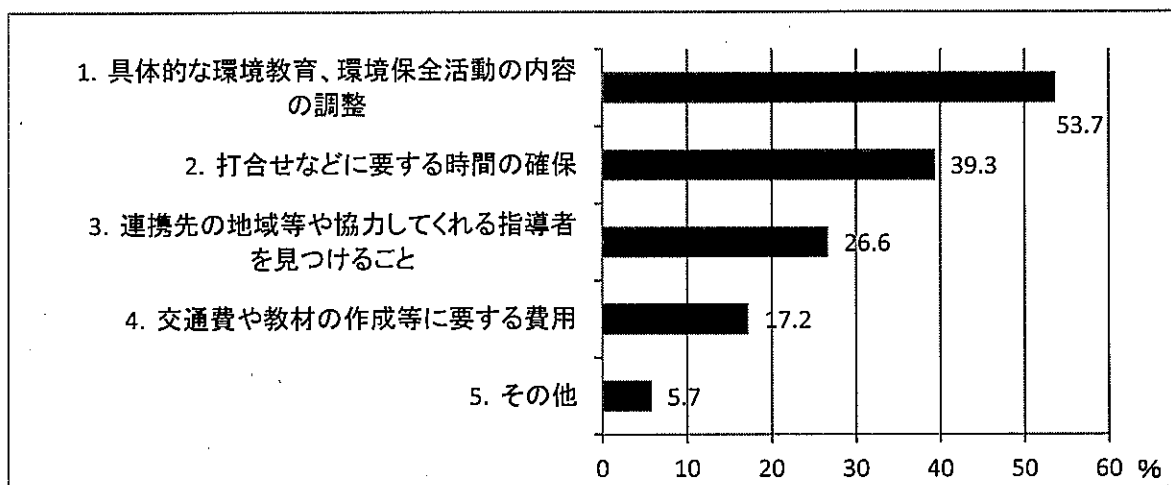
問9 連携している団体等の数について、概ね5年前と比べ変化はありますか。(1つ選択)



問10 団体等と連携して環境保全活動や環境教育を実施されたいと思いますか。(1つ選択)



問11 団体等と連携する際の課題は何ですか。(複数選択可)



問3の回答一覧

※No欄は、同一事業所から複数の回答があった場合、同じ番号で表示している。

No	選択番号	内容	参加者数
1	1	エコアクション21取得事業所により年2回実施	16
1	2	近隣公園の清掃 年2回実施	2
2	5	河川の清掃活動	10
3	2	滑川工場倶楽部市内美化運動(春・秋)	130
4	9	省エネ(節電、節水、ゴミ分別、リサイクル)	60
5	2	5/30 ゴミ運動	40
5	7	インターン(2~3名)・会社見学	23
6	9	とやま環境財団から依頼を受けて企業の環境活動(ea21への取組)を指導	4社
7	1	紙、ゴミ、電気の削減	35
7	1	不良品の削減	35
7	1	法規制の順守	15
8	2	海岸清掃	50
9	7	近隣中学、高校生徒の工場見学実施	150
10	2	会社周辺のゴミひろい	30
11	4	花を植える	
11	3	ゴミひろい活動	
12	1	現場内における環境保全講習(ビデオ他)	4
13	3	その活動も目的の一つとしている団体に加入し会費を納入している。	0
13	6	会社の休日に行われる為、資金協力している。	0
13	4	社内に緑化の一環として、草木を植えている	0
13	7	地域住民による会社訪問がある	0
14	2	全社員参加による周辺地域のゴミ拾い	83
15	2	清掃ボランティア活動	約60
16	3	環境行事への参加	1
17	6	資金協力	
19	2	事務所又は現場周辺のゴミ拾い	5~8
21	1	エコアクション21活動を通じてのエネルギー廃棄物低減	
25	1	ISO14001を取り入れた環境保全教育	18
25	2	定期的に社周辺の清掃活動	18
25	5	事業活動とのものが該当	18
26	1	毎週月曜日の朝礼時、各環境保全項目担当者より数値推移や具体的取組等について発表、ヒアリングを行った。	27
27	2	第41回立山美化清掃大会参加	1
27	4	アルペンルート沿線施設外来植物除去活動	3
28	2	ゴミ拾い活動	20
29	3	美化活動に参加する。	5
31	4	道路愛護ボランティア	20
32	5	ごみゼロ運動	20
32	3	エコアクション21	30
33	9	有機田での田植え経験を通じて、環境保全型農への理解を育む	30
33	7	各学校からの14才の挑戦や、授業の一環として有機農場見学と学習	50
33	5	地元のNPO法人こば・きんたろうクラブのメンバーとともに我が里山の森っとり体験	30
34	4	グリーンカーテン	20
34	2	県道植栽帯の除草	30
35	3	きれいにせんまいけ大作戦(岩瀬浜)・富山市一斉清掃(萩浦地区参加)	30
35	1	環境月間6月にDVD等を用いた教育	20
35	4	環境月間に工場周囲の清掃活動	12
35	7	地域住民工場見学会10人、近隣小学校生徒工場見学50人	60
37	1	エコアクション21	24
37	2	工場周年の美化活動(年2回)	24
38	1	年2回エコアクション21をベースとした教育を実施しております	22
38	2	会社周辺のゴミ拾い活動	22
38	5	森に恩返し活動(植林)	1~2
39	1	新入社員向環境教育	6

39	2	工業団地内清掃活動	100
39	4	花壇、緑地の清掃	100
39	5	工業団地内清掃活動	100
42	2	周辺地域の美化活動への参加	10
43	1	ISO14001/2015改訂内容教育	226
44	1	環境保全自覚教育を通して事業活動によまう環境負荷低減の推進	
44	7	事業所見学会を通じた環境活動の紹介	
44	8	チビッ子サッカーへのグラウンド開放	
44	9	環境への有益な活動の推進	
45	2	週1回、会社周辺道路等の清掃を行っている	1ヵ月延べ40名程度
46	3	市の実施する緑化運動に参加	5~8
47	5	春、秋に事業所、現場周辺の江ざらい及び美化活動	65
47	7	山土砂開発現場における化石調査受入(周辺小学生生徒100人程度)	3
47	2, 3	G7海辺美化活動等への参加	15
47	1	毎月21日の全体会議による環境教育の実施	80
47	4	事業所内及び開発現場における植樹及び植林	12
49	2	事業所周辺の清掃活動	11
50	4	事業所周辺の清掃や雑草取り	26
51	2	周辺道路のごみ拾い	2人/営業日
51	7	施設見学会の開催、受入 53団体	1035
51	1	法規制とその対応	50
53	1	エコアクション21(2013年登録)に於いて、電力の削減や燃料の削減等により、CO2の削減に取り組んでいる	13
54	2	周辺道路のごみ拾い	40
55	2	町内近隣のゴミ収集(月1回)	20
55	3	ノーマイカーデーの参加、ゴミの日の参加	20
55	4	事務所、倉庫周辺の植樹	
55	5	工場内の水処理設備で排水のチェック	
58	2	小学校校下のゴミひろいへの参加	3
58	2	会社周辺の草かり	4
59	1	ISO14000取得、委員会活動	7~15/M
59	2	市のアダプトプログラムに参加	10/M
59	3	海岸清掃へ毎年参加	2~3/回
59	4	樹木の植樹をする	10本
59	7	14才の挑戦、地元小学校の見学受入	50/回
60	9	富山県公害審査会	1
61	2	毎月1回、社屋周辺の道路ゴミ拾い	約30
61	5	7月に実施された海岸清掃	約30
62	2	周辺地域の清掃活動(年4回)	延べ約80
63	2	岩瀬浜海岸清掃	20
63	5	事業所周辺の側溝の清掃、草むしり	40
64	1	太陽光発電システムの普及拡大	13
65	2	側溝の泥上げ、清掃、草刈り	5
65	2	道路沿いの樹木植込の除草	2
65	2	ゴミステーションの清掃	2
66	1	エコアクション	
67	4	事業所内の工場緑化	25
68	6	レジ袋収益金の寄付	富山県下7店舗
68	7	夏休みお店探検隊、クイズラリー等(小学生)	75
68	7	エコ博の開催	200~300
69	2	町内美化活動	
70	1	エコアクション21として省エネルギー、省資源、廃棄物削減に取り組んでる	20
70	2	道路愛護ボランティアとして年3回会社周辺2kmの清掃活動	40人/回
71	9	事務所で使用する水道、電気削減、工事現場での二酸化炭素削減、廃棄物排出削減	3
72	1	ISO14001の運用で、電気代、コピー代の削減、ライトダウンキャンペーン2回実施	30
72	4	緑化施設の手入れ、ゴーヤのグリーンカーテン	10
75	5	町内のみぞそうじ	3
76	2, 5	会社周辺の清掃を年3回実施した	延べ210

76	7	地元小学校へ行き、地域温暖化防止の講義をした	34
76	1	毎年、自覚教育(環境関連)を実施(今年は化学物質)	93
78	9	射水市六渡寺海岸の清掃(公募)	361
78	2	公園の清掃美化活動(社員)	10
79	1	地球温暖化防止、CO2の削減	8
80	2	毎月、1日に早期出社し、周辺地域の美化活動をしている	全社員
82	1	周辺地域の美化活動への参加	100
82	7	地域住民や学校への事業所の公開	20
84	1	ISO14001取得に向けた従業員集合教育	105
84	2	毎年2回店舗周辺道路の清掃活動	のべ30
85	4	駐車場の端を歩道にし、ツツジを植樹、プランターも置いた	5
85	2	町内の溝掃除に参加協力した	25
86	4	事業所や周辺の緑化	4
87	2	環境月間に伴う環境美化運動	10
87	2	平成27年度ふるさと富山美化大作戦	15
87	2	三世代合同清掃活動	60
88	2	工場周辺の清掃活動(5月・10月)	約140
89	2	環境美化大作戦(周辺のごみ拾い)	3
89	3	環境フェアに出展	2
89	7	工場見学に開放 見学者年間数百人	
90	5	河川周辺のごみ拾い	5
90	6	地域用水清掃時に重機車両を貸与	
92	4	処分場跡地の緑化(桜の植樹)	
92	7	処分場見学会の実施	
92	8	社有駐車場の地元住民の解放	
94	2	地域での清掃活動	15
94	3	地球温暖化防止活動への参加	
94	3	地球温暖化の賛助会員	
95	2	会社周辺水路清掃	4
95	2	地域のごみひろいの参加	4
96	7	資源物のリサイクルの流れを工場見学の受入れ愛に説明(来場者は近くの市町内小学校4年生や保健衛生組合他)	約700
97	5	最寄り駅の清掃	6
98	9	CO2削減	81
99	2	3か月に1回、年4回地域の清掃活動を行っている	約80
101	2	道路の清掃	13
102	5	庄川クリーン大作戦	約90
103	1	環境負荷物質の教育	50
104	3	エコアクション21認証登録	15
104	3	チーム富山市に加入	15
106	7	リサイクルプラント見学	240程
107	1	エコアクション21取得活動	30
108	2	海岸クリーン作戦	80
108	3or9	アースデー	5
108		環境マネジメントセミナー	1
109	5	企業の森づくり活動	237
110	1	ISO14001取得しているので、公害防止、廃棄物削減、生物多様性保全(古紙活用)の活動を推進している	
111	9	EA21に加盟し適正な管理及び活動を行っている	34
114	3	会社周辺、国道のごみひろい(クリーン作戦)	24
114	7	小学4年生の環境教室(浄化センター見学)	150
114	2	町内会のクリーン作戦に参加	5
114	8	地区のもったいない運動(資源回収)に車と倉庫	
116	1	長期停止前に環境値を管理する職に環境教育実施(非定常作業時の注意事項、自分達が遵守しなければいけない値等)	20~50
118	9	ISO環境目標として①コピー紙使用量の抑制②20時退社の徹底(電気使用量の抑制) ③環境配慮工法の提案(建設コンサルタントの業務の一環として)	34
119	1	ISO14001の認定を取得していることから各種研修を行っている	最大で200

119	2	工場周辺清掃(年2回)	年間延べ272
119	3	高岡市松太枝浜海岸清掃(2016年は雨天中止)	2015年41
120	3	富山県や富山市が主催する清掃活動等に行員多数参加	約300
121	4	店舗の壁面緑化	
122	8	地域の子供を対象とした環境教育活動	30
123	3	校区の草むしり、ゴミ拾いなど	1
124	3	除草、ゴミ収集	5
125	1	エコアクション21を2011年8月に認証登録し、現在に至るまで、事業活動の中に省エネルギー資源、廃棄物削減等の取り組みを行っている	7
127	2	グループ内で連携し通勤路を中心に周辺地域の清掃、美化活動をした	1
128	4	事業所内の緑化整備	20
129	3	町で実施されているクリーン大作戦等の参加	15
130	5	所属協会実施の川掃除他参加	3
130	2	地域の公園の竹林整備を竹の子堀と称して親子で楽しみながらやっている	16
131	3	企業や婦人会などからクラフトの講師依頼と環境の話をする	
131	3	小学校で親子クラフト	180
131	3	ウッドリンクでクラフト体験	100
131	3	子供クラフトイベント	90
131	3	森の案内と親子クラフト体験	180
131	3	枝を使ったフレームアート	50
131	3	稲ワラを使ったガーランド指導	30
131	4	来年の植樹祭に向けて、頼成の森で森の整備と植樹	
131	5	属しているNPOの自然塾の中に環境保全を組み入れた講座をしている	35
131	5	海老江海岸の清掃活動参加	8
132	8	地元児童会との合同BBQ	20
133	5	小矢部市江ざらいへの参加	10
133	2	現場周辺の除草活動	7
134	1	ea21への取り組み	15
136	1	エコアクション21認証維持への取組(CO2・廃棄物・水使用量の削減)	31
137	3	とやま環境フェアへの出展	従業員 3名
139	7	見学者の受け入れ	見学者1441名
139	5	ふるさと富山美化大作戦でのエコタウン美化清掃	従業員 4名
138	1	営業担当者、配送担当者へのエコドライブ講習	5
140	2	敷地および敷地近隣の美化活動	約40
141	1	ISOをとおして	
142	2	年2回美化運動参加	
142	4	工場道路側の緑化	
142	5	工場道路側の雑草除去	
143	1	環境マネジメントシステム"エコアクション21"の認証を取得、継続中	18
144	4	道路や側溝のゴミ拾い	5
145	1	騒音・振動の教育	10
146	1	無断な使用厳守 車、機械、洗車タイマーにて管理	6
147	2	工場前の道路清掃	10
150	5	菅沼合掌集落の清掃活動	2
151	7	親子見学会での工場対応	5
151	2	工場周辺のゴミ拾い(ゴミゼロ活動)	30
152	4	敷地境界の除草及び樹木のせん定等	
152	1	行政主催のセミナー等への積極的な参加	
152	4	除草、樹木の剪定	10
153	1	毎月の安全環境会議時にテーマを決めて15分程度教育を行っている	6
155	2	プラント周辺の清掃を実施している	6
155	1	エコアクション21の認証、継続へ向けて全社で取り組み	20
156	2	会社周辺の清掃活動を実施	20
156	4	エコアクション21の継続と関係会社の認証サポート	20
156	1	各部署の安全懇談会を利用し、環境法令などの教育を実施	11部署220名
157	2	年2回、従業員・協力会社員により工場周辺のゴミ拾い実施	353名/年
157	7	住民感謝祭参加者、環境保健衛生協議会、小学校児童、RC地域対話参加者など対象	のべ170人
157	8	近隣小中学校運動部などに体育館、グラウンドの提供	延べ8800人

157	4	毎月美化活動を実施している	のべ64人
158	7	申込みがあれば、ほぼ見学を常時受け入れている	のべ744名見学
158	1	従業員に環境小冊子を配布し、啓蒙	432
159	2	会社周辺地域でクリーン作戦(ごみ拾い、側溝清掃)実施	100
159	5	立山山麓花のゲレンデ大作戦に参加(年2回)	18人(2回)
159	3	ふるさと富山美化大作戦に参加	14
159	3	県・市町村統一ノーマイカー運動に参加	12
159	1	従業員に環境小冊子を配布し、啓蒙	373
160	2	会社周辺地域でクリーン作戦(ごみ拾い、側溝清掃)実施	70
160	5	立山山麓花のゲレンデ大作戦に参加(年2回)	4人(2回)
160	3	ふるさと富山美化大作戦に参加	10
160	3	県・市町村統一ノーマイカー運動に参加	2
160	4	職場周辺の環境美化(除草等)	10
161	1	電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出量の削減	15
162	1	廃棄物の3Rに努める	15
162	5	中山間の植樹	2
163	3	とやま環境フェア出展	6
164	2	松川べり彫刻清掃活動	37
164	2	千歳神社および周辺地域清掃美化活動	20
164	4	会社周辺の美化清掃	8
165	2	小川清掃活動	50
167	4	グリーンカーテン、野菜栽培、近郊美化	11
167	2	休日を利用し、他事業所社員も含めゴミ拾いを行う	72
168	4	グランドカバーとして、クラピアや芝桜を植えて育てる	16
168	4	事業所の隣接周辺の草刈り	2
169	4	事業所内の緑化及び草刈り	2
169	1	社員教育 能力開発教育	136
170	2	会社周辺清掃活動(昼休み休憩時間の清掃)	68
170	3, 5	六渡寺海岸清掃(プラスワンアクション)6/21(48人), 11/15(36人)	84
170	7	会社主催の地域交流イベント(ファミリーフェスティバル)で工場見学	60
170	1	環境一般教育の実施、個人の環境宣言	180
171	2	各事業所周辺の美化活動(ゴミ拾い)	50
171	3	地域の環境保全活動(排水の油水分離)	
171	9	エコアクション21 自治体イニシアティブ参加	19
172	1	エコドライブ教育の実施	204
174	2	周辺地域への美化活動の実施	延人数400名
174	3	黒部市ふれあいの森 下草刈り参加	18
174	1	環境方針の唱和	221
175	2	側溝清掃	8
176	2	会社周辺の除雪	8
176	4, 8	つつじ公園を近隣住民に提供	
176	1	エコアクション21	9
177	1	毎週月曜日の一斉社内清掃	13
178	1	NES活動を通じた環境教育の実施	57
179	2	会社周辺の環境美化運動	57
179	2	会社周辺の美化活動(清掃)、会社敷地周辺と最寄り駅の清掃	20
180	1	ISO14001社内規定による環境保全	117
181	2	周辺道路の除草、残土処理及び街灯の清掃	117
181	3	富山県道路愛護ボランティア活動	117
181	2	道路上のクリーン作戦(ゴミ拾い)	40
182	4	事業所まわり歩道の歩道の植樹の清掃	60
182	1	社内環境教育(E-learningによる年に2~3回実施)	約900名/回
183	2	井田川、神通川、岩瀬浜、城ヶ山公園の清掃	約60~90名/回
183	3	太閤山ランドパークボランティア 園路や広場の環境美化(年数回実施)	約10~20名/回
183	4	①(富)建屋周辺環境整備 建周りの除草・収集(年2~3回実施) ②企業の森づくり活動(年5~6回実施)	約10~50名/回
183	5	ゴーヤ苗の寄贈・鉢植替え、おかわかめ・スネールフラワーの寄贈・植替え(地域3ヶ所)	数名/回

183	7	高校生、大学生への事業所公開	年数回受入
183	1	エコアクション21活動	142
184	2	毎月第2金曜日のご近所クリーン大作戦(店舗付近のゴミ拾い)	142
184	3	富山市ふるさと美化大作戦等への参加	36
184	7	インターンシップや14歳の挑戦受入	10
184	8	5月～10月の月一回のマルシェの開催	20
184	2	社屋周辺の清掃活動	10～20人程
185	8	コスモアースコンシャスアクト	10人程
185	1	エコアクション21	21
186	4	弊社敷地内での植樹活動(地域との協働)	30
187	7, 8	次世代環境教育の実施(地域との協働)	100
187	1	環境法令の教育	150
188	9	事業所周辺の草むしり、ゴミ拾い(年3回)	90
188	2	会社周辺及び近隣区域の清掃奉仕活動2009年より毎年10月度に実施	25
189	9	特別養護老人ホームの餅つきイベントにボランティアとして参加2012年度より参加	5
189	2	市民美化運動への参加	20
190	4	事業所周辺に対する緑化対策	20
190	9	製品洗浄に対する排水処理管理の徹底	5
190	2	工場周辺の清掃	15
191	1	環境ISOによる活動	50
192	2	草刈清掃活動	24
193	9	日印産連グリーンプリンティング工場認定取得	8
194	6	富山湾	13
196	2	会社の周辺の道路付近のゴミ収集	18
199	4	森に恩返し活動	792
200	2	富山駅北、近辺の環境美化清掃活動	9925
200	1	ISO14001の活動として環境教育の実施	210
201	2	工場周辺の清掃	20
201	2	会社周辺のゴミ拾い	ローテーションで1回5～7名
202	5	海岸や河川敷の清掃活動	100
203	6	環境支援定期預金を募集、150万円を富山県に寄付しました	
203	1	CO2発生の削減	48
204	1	重機油漏れ確認・点検	33
204	2	CSR活動として会社周辺の清掃活動	107
205	2	となみチューリップ街道実行委員会活動への参加	のべ20名
206	1	事業所全体で、省エネルギーに係わる教育を実施	200
207	2	事業所独自のものと地域と連携によるクリーン活動	50
208	4	緑の里山保全森づくり活動 植樹育樹	4～50
209	1	廃棄物削減、リサイクル推進、省エネルギー推進、CO2削減、法令の順守等	670
210	1	従業員の雇入れ時の環境保全(廃棄物・ISO14001)教育	50
211	2	市の春・秋の美化運動参加と県のクリーン作戦参加	延べ102
211	3	市の緑のカーテンコンテストや環境フェアへの継続参加	15
211	4	全国植樹祭に向けた苗木のホームステイ企業に参加	10
211	7	近隣する小中学校のエコキャップ回収事業展開	とりまとめ1
211	1	省エネルギーの推進	60
212	2	クリーン作戦(工場周辺の美化活動)	45
214	7	地域住民の方を対象とした工場見学とその際に環境問題について意見交換	14
216	5	立山美化清掃大会	23
217	4	立山黒部環境保全推進運動(美化清掃、外来植物除去)	31
217	9	富山国際大学下草刈り	45
219	2	敷地内及び工場周辺の清掃活動	200
220	2	富山駅北地区環境美化清掃活動	6
221	5	里山の森 下草刈り	3
221	1	エコアクション21の運用に伴う社員教育	30
222	2	建設業協会が開催する美化活動への積極的参加	5
222	2	会社周辺の美化活動(ゴミひろい)	35
224	9	CO2排出低減製品の開発販売	

225	1	エコアクション21への取組の社員教育	13
226	1	社内全体会議での周知	
227	2	会社周辺のゴミ拾い	
227	3	富山県環境フェア参加	
227	4	年2回 県道42号線の下刈り	
227	6	用水管理への負担金の支出	
228	2	事業所周辺クリーン活動	100
228	5	富山・高岡地区レスポンシブルケアー地域対話	120
228	7	事業所周辺町内会役員、周辺中学校への見学会	50
229	7, 8	廃材を利用した木工教室	
230	2	工場周辺及び最寄り駅前の清掃(2回/年)	48
232	2	街なみ美化活動(毎月1回市内の施設周辺のごみひろい)	20人/回
233	5	地域の環境保全活動への参加	2~3人
234	4	工場周辺の緑化及び緑化の維持	
235	4	事業所や周辺の緑化	
236	2	春、秋の2回、健康ウォークと題して、社員参加による幹線道路の清掃	30
236	4	当社5~6年前から行なっている「コケ緑化事業」(コケの育成→販売施工まで)	
236	8	自社会館を地域のスポーツ教室に貸出している	
237	2	工場周辺の美化活動(写真あり)	32
238	2	工事現場周辺の美化活動、施工前よりも美しく清掃し、施工完了する	3
239	3	海岸清掃、わかめの種付け	2
239	5	森づくりへの参加	1
240	1	EA21への取組を全社で	10
241	2	事務所、駐車場廻りの草むしり、CO2排出削減	16
241	8	地域活動の道路整備の際、重機提供	1
242	2	草刈	7
243	1	エコアクション21認証取得	20
243	2	R415道路環境美化活動	10
243	4	工場・事務所・店舗・周囲の緑化植樹	
243	5, 6	伏木ふれあいの杜に協力(伏木ふれあいの杜事業に参加)	5
243	7, 8	7: 小学5年生50人に自動車の仕組みや部品等の知識の習得 8: 中学2年生14才の挑戦職場体験	54
244	2	事業所周辺のゴミ拾い、農道の草刈、用水のいざらい	3
245	2	他の団体と松川の清掃や、城址公園の清掃	2
246	1, 2, 5	富山市八重津浜、氷見市島尾海岸のゴミ回収を行ない、ゴミの種類から現状の環境をしり、今年ゴミの量を計測し分析を行っている。	452

「事業者」のその他の意見一覧

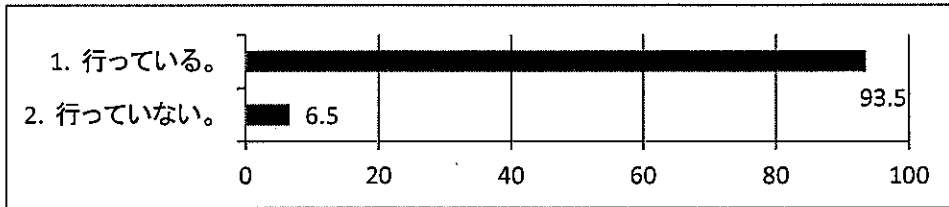
No	その他の意見
6	地球環境問題は人間の病気で例えば生活習慣病のようなもので、急性病と違って痛くもカクももないため、対応されないままある日突然対応出来なくなる事を認識して予防保全に努めることが大切と思う。
35	ゼロゴミや省エネなど、行政の取組みに賛同し参加しているが、より活達なモチベーションUPとなる様な情報、イベントを開催していただきたい。
36	近くの小学校、中学校、高校の通学路の沿線にあり、毎朝子供達が通学するのですが、歩道には、たばこのすいがらが散乱しております。最近は近くにコンビニができたので、食べ物のおき袋等もあります。毎朝200m位まではゴミをひろい集めるのですが、そんなに広い場所までは出来ません。最近はお煙をけぎらいする人が多い中、すいがらの散乱は多くなるばかりです。すいがら入れ等を取りつけてもらえませんか。屋外での喫煙を中止してもらいたいです。 自動車販売店の社員の方が年2回位、土、日曜日に歩道のゴミを清掃されます。こんな企業が増えるといいと思います。
41	再生資源循環の為、混ぜればゴミ、分ければ資源をモットーに仕事に従事しております。
42	環境保全活動は企業として必要なことなので、今後も可能な限り取り組んでいきたい。社員に環境保全活動の必要性を認識してもらうことが課題である。
57	住宅づくりにおいて環境保全活動を行っています。地産、地消「とやま県産材」の使用率は80%以上とし、使用する木材は冬の新月期に伐採し、葉枯し、全天然乾燥させ、木材の乾燥にエネルギーを使いません。住宅の断熱性能は、北海道&北東北レベルで、機密性能は平均0.3cm ³ /m ³ です。太陽光発電&太陽熱、雨水(屋根&PV&カーポート土間の消雪、トイレ洗浄水、車の洗浄、畑&庭の水やり)等の自然エネルギー活用、北陸電力管内初で電気自動車を住宅用蓄電池として活用するシステムの導入データ取り等を行っています。
58	少人数の為小学校区の参加しか出来ません。
64	以前の様に省エネ、自家発電、蓄電池など、補助金を検討して頂きたい。
73	行政から依頼され、各町内会の側溝のどぶ掃除の際は、2tダンプと運転手をお願いされています。
114	いろいろな提案をしても行政にやる気がない。企業間でやることはできるが、業種の違う企業では、日程の調整が難しい。地域だと休日になるのでまた難しい。
117	少人数の事業所のため、活動時間を確保することも難しく、個々で環境保全に努めたいと思います。
122	参加者を募る際の補助や活動内容、結果の県民へのPRは大企業は自社で行えますが、中小企業は難しいです。
123	私たちの気づいてない事で環境を悪くしている事があるかもしれません。環境悪化しないための啓蒙活動をしてもらいたい。
139	東北の震災の影響で見学者が減った時期があったが、最近が増えてきたので、いろいろな地域や年代の人たちにリサイクルの様子を見て学んでもらっている。
140	会社では環境意識の有無にかかわらず、ある意味業務の一環として活動に参加協力してくれます。一方で、家庭や個人の単位では、環境意識を持っていたとしても、行動にまで結びつく動機付けができないために、機会があっても参加しない、面倒がる。といった傾向があるように思えます。個人個人の考え方、年齢、家庭、地域などで違いはあると思いますが、活動取組への動機を促す告知の仕方、楽しさの伝え方などに工夫が必要かとも思っております(個別に響く伝え方なども)。

142	親会社の方針に従って活動しています。
149	車等の洗車水は、再利用に努めている。
167	今後も環境教育、活動を通して事業所において事業の発展、そして地域貢献を行っていききたい。
168	会社として行うもの、というよりも、社員1人1人が自発的に取り組めるような内容にしていきたいと思います。
179	環境マネジメントシステムを導入しているが、直接的に収益に結びつく事業ではないことから、専任者の配置が難しい。
181	ボランティア的な意味がある中での活動なので、指導等は難しいと思います。
195	富山市内で環境関連セミナーの開催あれば参加したい。
198	平成28年度後半は、社内ゴミの分別をより強化し、資源ゴミでの有効活用を進めています。
200	地域や学校などと協働活動する時の相談にのってほしい。
203	立山連峰の弥陀ヶ原で外来植物の除去活動ボランティア日帰りツアーを実施し、役職員や家族680人が貴重な観光資源である立山の生態系保護に励みました。
219	地域の環境保全活動には興味あります。しかしながら指導頂く方含めどうやってよいか分からない点、また例えば指導頂くことになった場合、打合せ等の時間確保できるか、また社員は自主参加となりますので集まるかどうか心配です。
225	レジ袋有料化のような社会の仕組みを変えなければ、環境保全は進まない。活動や教育自体が目的となって成果が出せず税のムダ遣いとなりかねない。ある程度の強制力をもってでも環境保全のための制度を作り、実施すべきと思います。
239	環境保全活動と環境教育の一体となる指導者がいない、表裏一体のものであって、室内で教育を受けて、それを活動に結びつけてくれる指導者があってもいいのではと思います。
240	エコアクション21の取組、活動内容の周知、認知度の向上。
243	環境保全活動、環境教育は生物が生きる為の基本なのでもう少し65才以上の高齢者が少しの間でも地域に出て協力出来る様に啓蒙する。又失業保険取得者が活動に参加した場合にボランティアポイントを付与する等、又パークゴルフなどを楽しんでいる健康な方などの理解を得る工夫をして時には、この様な活動に参加をして頂く。

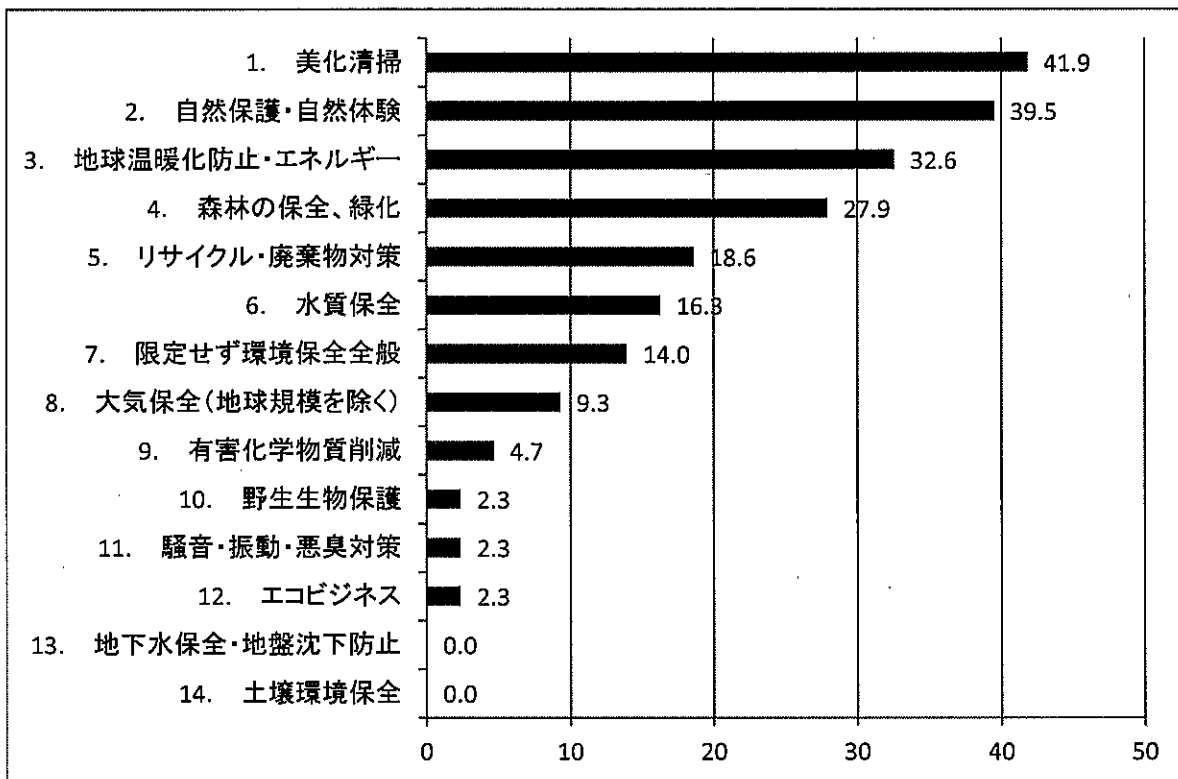
「環境教育・環境保全活動・協働取組み」に関する アンケート調査結果(民間団体等)

回答数: 47団体/120団体

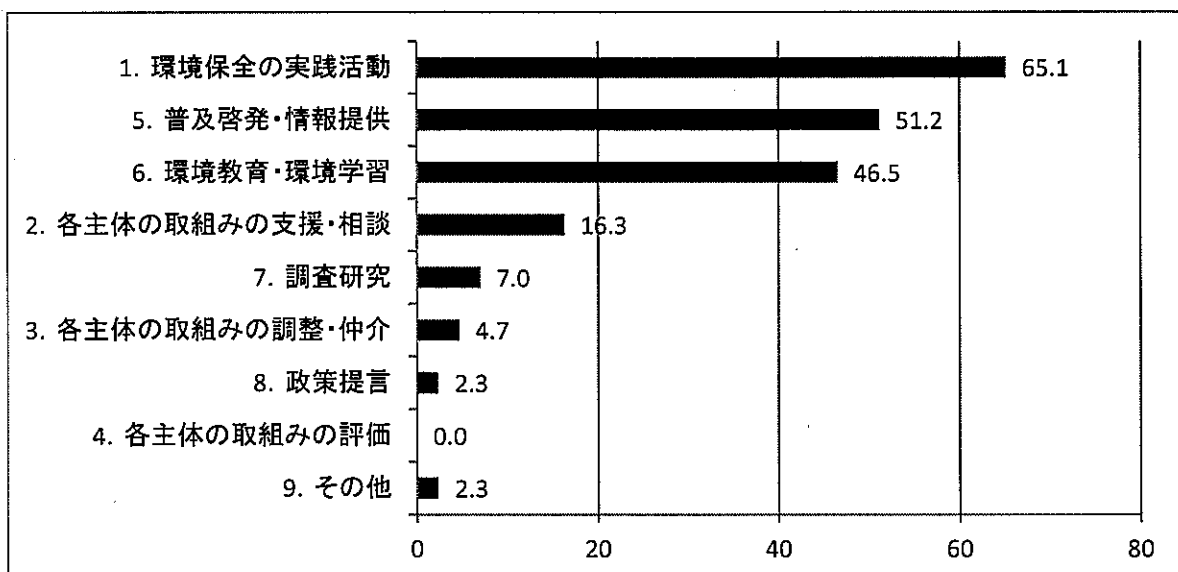
問1 貴団体では、平成27年度に、環境保全活動や環境教育に関する活動を行いましたか。
(1つ選択)



問2 貴団体の環境保全活動や環境教育に関する主たる活動分野は何ですか。(複数選択可)



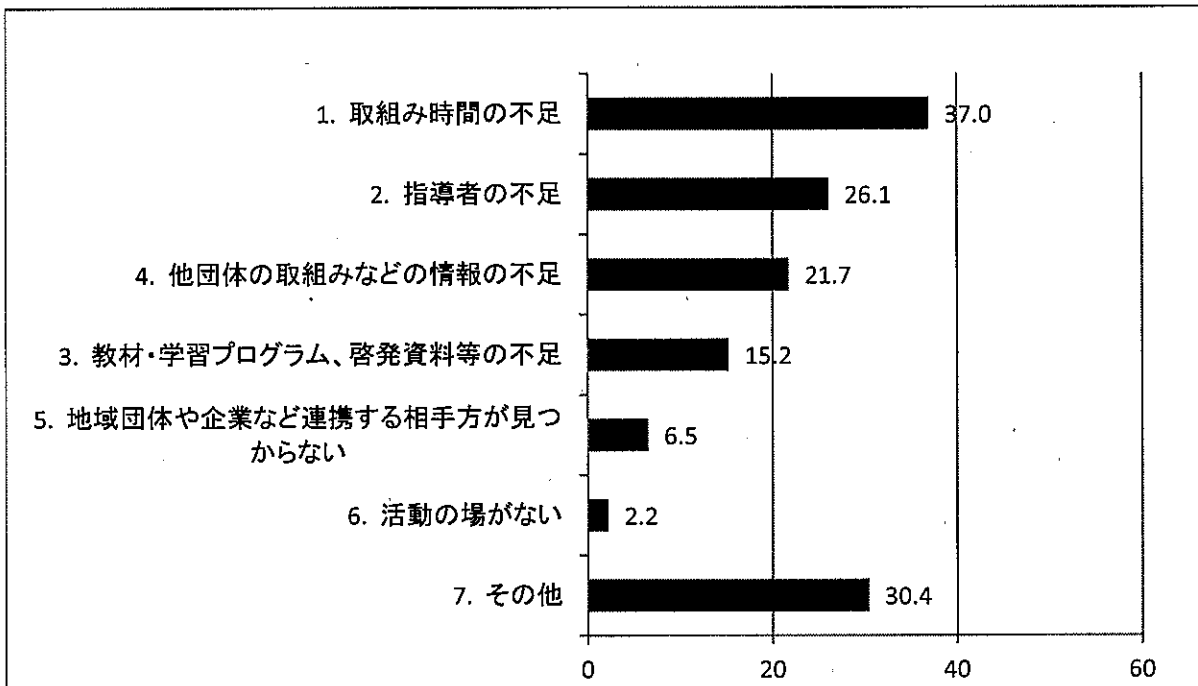
問3 貴団体の主たる活動形態(実施手段)は何ですか。(複数選択可)



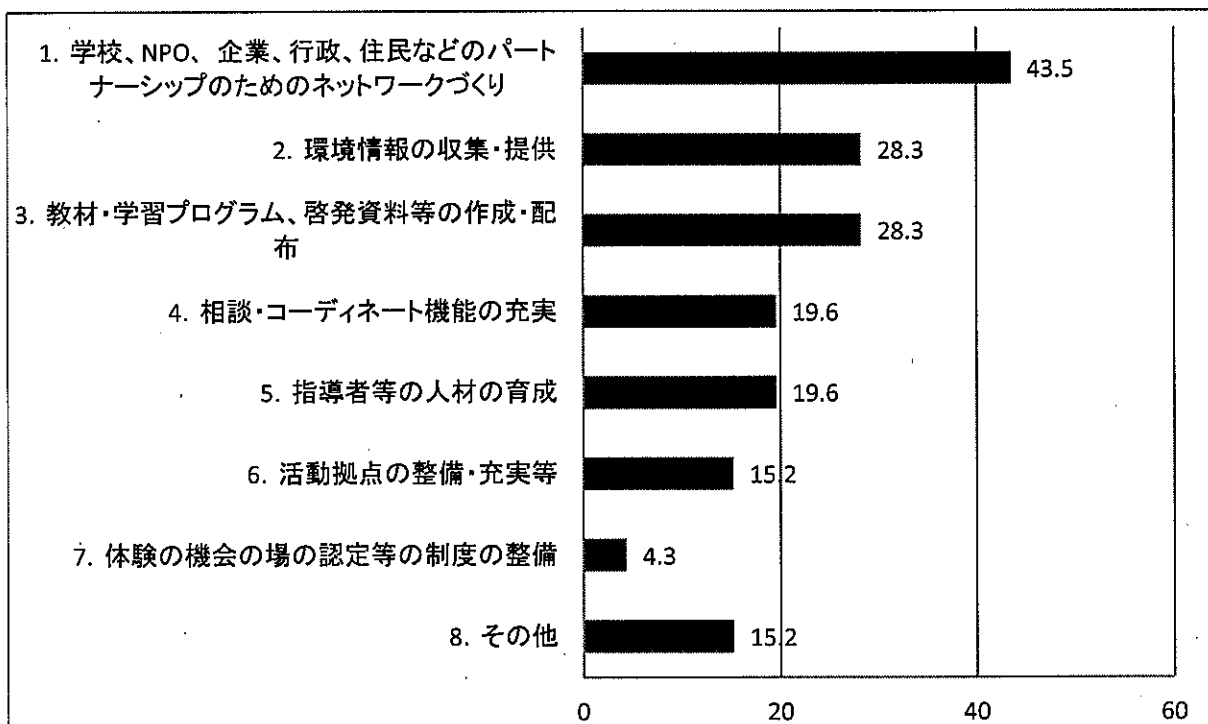
問4 貴団体で、平成27年度に実践した環境保全活動のうち、特に力を入れているものについて、ご記入ください。(後掲:表中の選択番号は下記のとおり)

- | | | |
|------------------|------------------|----------------|
| 1. 限定せず環境保全全般 | 2. 森林の保全、緑化 | 3. 自然保護・自然体験 |
| 4. 大気保全(地球規模を除く) | 5. 地球温暖化防止・エネルギー | 6. 水質保全 |
| 7. 土壌環境保全 | 8. 地下水保全・地盤沈下防止 | 9. リサイクル・廃棄物対策 |
| 10. エコビジネス | 11. 騒音・振動・悪臭対策 | 12. 有害化学物質削減 |
| 13. 美化清掃 | 14. 野生生物保護 | 15. その他 |

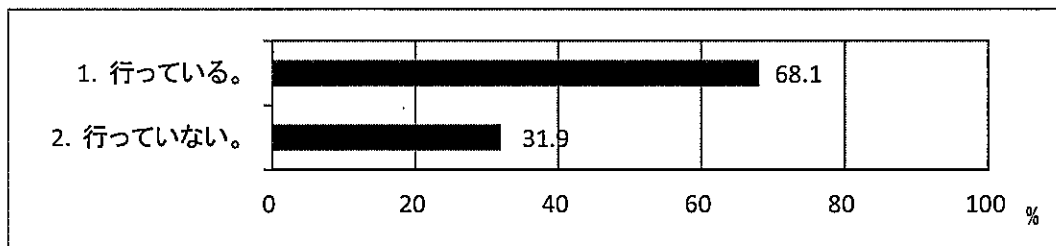
問5 環境保全活動や環境教育を実践する際に課題とされていることは何ですか。(複数選択可)



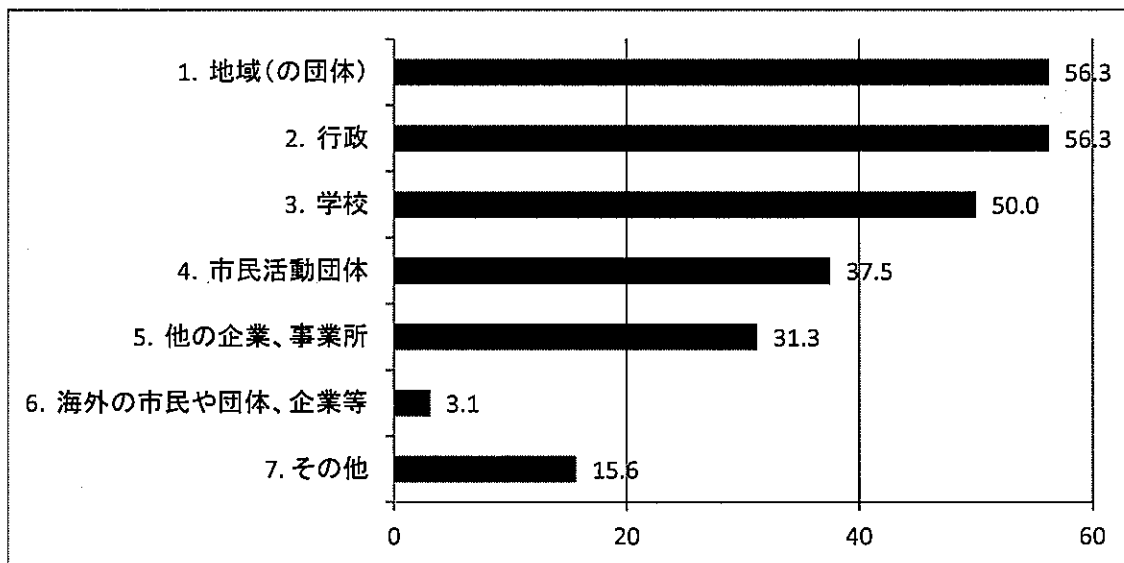
問6 貴団体が環境保全活動や環境教育を推進するために県や市町村に支援を期待することは何ですか。(複数選択可)



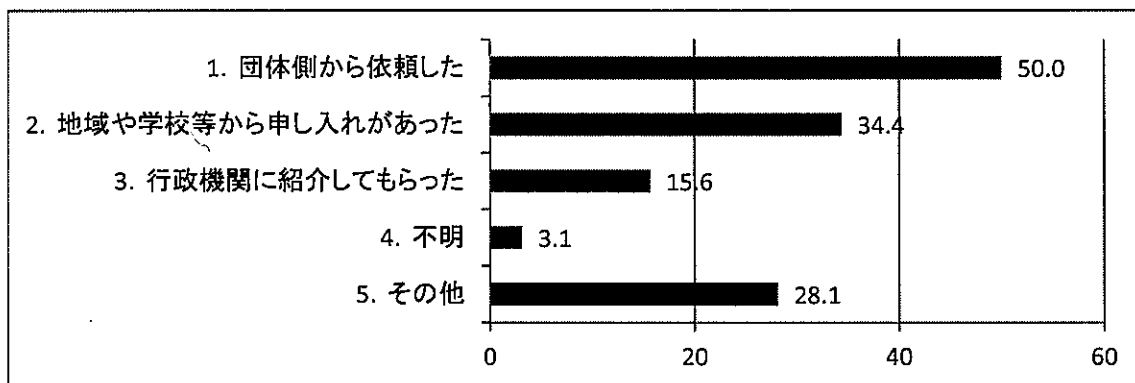
問7 貴団体で、平成27年度に、環境保全活動や環境教育を実施する際、団体等と連携をとり行いましたか。(1つ選択)



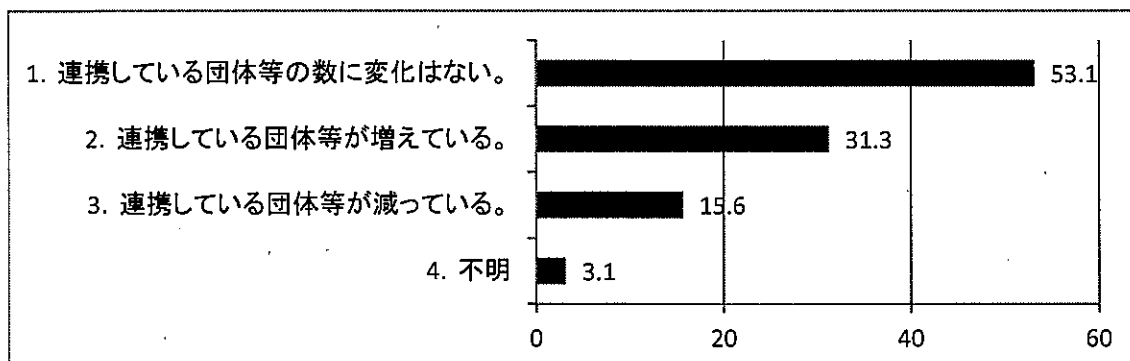
問8 貴団体で環境保全活動や環境教育を実践するにあたり連携をとっている相手方はどこですか。(複数選択可)



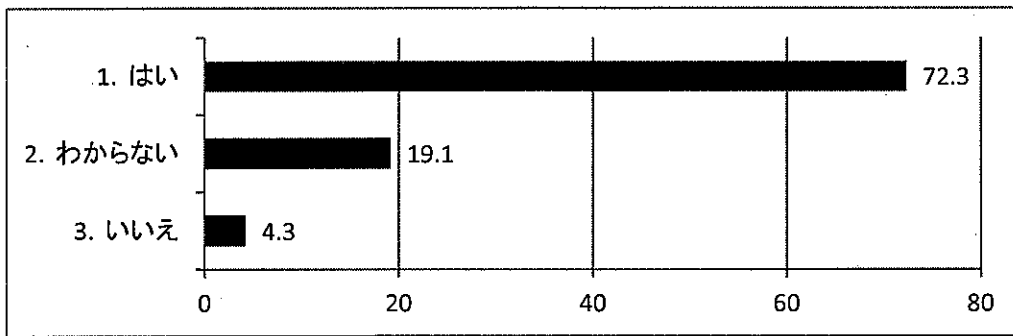
問9 問7で回答した団体等との連携のきっかけは何ですか。(複数選択可)



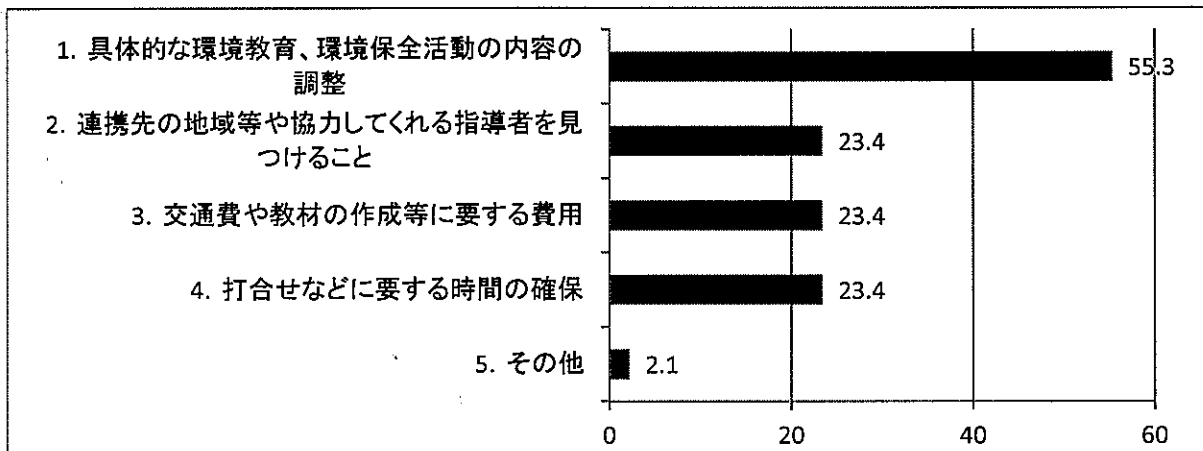
問10 連携している団体等の数について、概ね5年前と比べ変化はありますか。(1つ選択)



問11 団体等と連携して環境保全活動を実施されたいと思いますか。(1つ選択)



問12 団体等と連携する際の課題は何ですか。(複数選択可)



問4の回答一覧

※No欄は、同一団体から複数の回答があった場合、同じ番号で表示している。

No	番号	内容	参加者数
1	13	新湊地区を流れる内川の清掃	約30人
2	13	ゴミの運動の参加	5
3	5	森の寺子屋を通して森林の持つ公益的機能の理解を深める	147
4	13	防犯パトロールに合わせて道路等に投棄されたゴミの収集	通年述べ3041人
5	5	緑化思想の普及啓発(とやま森の祭典等)	2000人
5	6	花とみどりの少年回活動、育成支援	200人
5	2	市町村緑化推進委員会活動への支援(交付金)	—
6	2	私たちは地域材(木材)の地産地消をすることで、健康な森に戻すことを目指していて、そのようなお話と県産杉を使った木工ワークショップを行っています。現在は小学校の図工の授業で材料を届けながらお話する機会もいただけており、少しずつ依頼が増えております。	合計138名
7	1	「環境フェア2015」に出展	来訪者500名
7	1	環境月間ポスター募集事業に参加	協会会長賞6名
7	1	立山室堂周辺清掃活動の実施	15名
7	9	産業廃棄物適正処理講習会の開催	258名
7	9	不法投棄防止カレンダーの作成・配布	1,250枚
7	9	パンフ「産業廃棄物の適正処理を目指して」作成・配布	1,750冊
8	2	金剛堂山登山道整備	6
8	6	河川清掃活動	31
9	2	ササユリの咲く森づくり(針広混交林化して下層植生を活かす)	70
10	1	第24回立山環境美化登山 室堂周辺の清掃活動	47
11	5	低速電気バスEMUの運行	10,332
11	5	視察受入れ(取組み紹介,小水力発電&EMU見学)	267
12	2	マツクイムシ立枯跡への植樹(閑乗寺)	400
12	13	街路樹落ち葉清掃(福野地内)	40
12	2	ナラ古木、薪炭伐採と炭焼き	120
13	5	カーボン・オフセットのセミナー	60
14	13	年5回千保川(一文橋から木津橋)1.8kmを草刈機やかままで刈り、竹ぼうき、くま手でボランティア袋に入れる	50~60
14	13	年1回夏休み日曜日近隣の小学校5年~6年親子で清掃	130
14		5月には毎年保育園児による色鯉の放流	30~35
15	2	森づくりボランティア団体等への活動支援、技術指導等	
17	2	呉羽丘陵森林整備など森づくり事業	のべ約800人
17	3	森林資源を利用した講座活動、森林散策、間伐体験など	のべ約550人
19	13	神通川河口を重点とした海岸清掃9回(3月~10月)7月より環境政策課主導の「森・川・海」リレー清掃キャンペーンに参画	254人
19	5	地球温暖化防止推進員要請講座受講	2人
19	13	「第2回富山湾100万人による海岸をきれいにする活動市民の集い」開催。会員、市民、団体あり参加	60名
20	13	地域内における不法投棄の監視と不法投棄物の回収	16
20	13	模擬監視カメラの設置・管理	
20	13	環境美化スローガンを訴える恒久看板の設置・管理	
20	13	公衆トイレ(1カ所)の日常的管理	
20	13	県内外から、視察者の受入れ対応(氷見市を窓口として)	
21	5	環境チャレンジ10講師として	15
21	13	六渡寺海岸清掃	6
22	4, 9	石綿使用建築物解体等講習(建災防主催)	30名
23	4, 5	エコライフ車塾(一般公募により開催、地球温暖化状況、エコドライブの知識と操作などの座学と実施)	35名
24	1, 6	不動滝の名水 周辺清掃	100
25	15	立山での外来植物除去活動	
25	3	年7回の一般参加も含め自然解説活動	
26	13	常願寺河口清掃	20
27	9	アルミ缶回収、廃食用油回収、もったいない市(年2回)	588

27	13	海岸清掃	800
28	1, 6	川のすこやかさ調べ	27
28	1, 6	川のすこやかさ調べ	30
28	1, 6	水辺のすこやかさ調べ	56
29	2, 3, 5	保育園、園児保護者を対象、森の勉強会、体験、クラフト教室等	210
32	3	富山県内全域の名水探訪 8回	250
32	13	名水の近辺の清掃活動	100
32	6	水質検査(簡易検査及び本格検査)	50
33	2	森林保全、緑化	
33	3	自然保護、自然体験	
34	2	竹林の整備	
35	1	インドネシア・チサダニ川の清掃 年300人程度、グリーンイベント 5,000名程度	
35	3	マングローブ植林 年100人程度、グリーンキャンプ 小学生 300人程度年2回程度	
35	10	小水力発電 設置、ゴミ銀行支援	
35	13	きれいな金曜日活動・インドネシア 4000名程度	
37	4	「環境に優しい自動車整備優良事業場」の推進。CO2排出量削減	163
38	3	シェアリングネイチャーの日、空を見上げて秋を感じよう	23
38	3	シェアリングネイチャーフォローアップセミナー	20
38	3	親子で自然とふれあう 氷見JCと共催	80
38	3	つゆの自然を感じよう	12
38	3	春の自然をみつけよう	21
38	3	放課後子ども教室研修会 富山市教委と共催	150
39	3	自然体験を通じた環境理解	50
40	2	釣り体験教室を通して自然保護等の啓発、稚魚放流体験	160
40	13	水辺環境活動	40
41	9	生ゴミ、野菜くず、草等を堆肥にして再利用するためEMボカシ作りを10年程続けている	10
41	9	使用済の割り箸を紙にリサイクルするため、回収し洗って製紙会社へ持って行っている。 (H23年から実施)H26年度250kg(A4紙2万枚程分)H27年度205.4kg	10
42	5	マイバック運動全会員、グリーンカーテン推進(30人)	2000
43	6	こども環境教室	155
43	13	富山にECOとプロジェクト 清掃活動	123
43	13	事務周辺清掃活動	14
44	5	最新排出ガス規制適合車導入助成 7社16両	
44	12	エコドライブ管理システム導入助成 3社28台	
45	1	北陸3県に設置した回収拠点におけるアルミ付廃棄物の回収	不明
45	3	講演会等における講師派遣	200
45	3	近隣の小学校6年生に対する環境授業(総合学習)	20
45	3	環境問題に関する研究発表会	50
46	3	サケ発眼卵の飼育、放流	25
46	13	鴨川清掃・梅花藻除去(会員:小学校生徒)	100
47	2	立山ルート緑化、ブナ林の枯死の対策	30
47	3	県下全体の調査研究、観察会の実施	100
47	13	立山美化活動、環水公園周辺の美化	50
47	14	温暖化などによる野生生物への対策。保護か処分か	30

「民間団体等」のその他の意見一覧

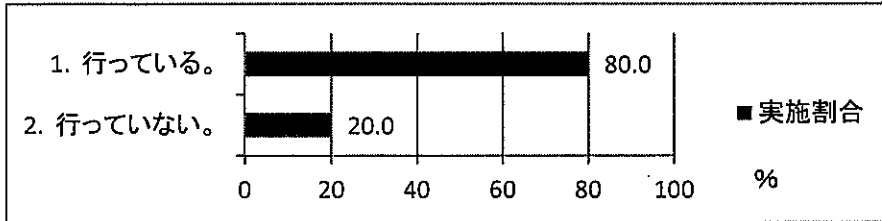
No	その他の意見
1	行政による川の清掃(定期的) 浚渫による美化清掃作業の実施 川の清掃には船も必要。その予算助成
8	都市部から小学生や中学生が自然の中での宿泊体験をしにやってくるが、その時に環境についての学習がある。これらについて過疎の為に対応できないことがあるので、人的、予算的な支援があればニーズに対応できる。今のままではこなくなると思われる。
9	副理事長が、主に環境教育を担当しており、地球温暖化防止活動推進委員としても活動しています。森林や里山、海も含めて、広く、自然環境の保全に努力していく所存です。
23	環境省の出先機関が富山県になく、国の環境に関する施策などを情報提供される機会が少ないため、国(環境省)の情報等を県が収集して新しい情報を提供していただければありがたいです。
25	他団体と行事を行う際の費用を確保するのに、いつも苦心します。
31	地域のサッカースポーツ少年団の団員達が、エコクラブ会員に所属して、スポーツ活動の空き時間に、清掃活動(グラウンド周辺など)を行ったり、オフの日は、川の水質調査をした。息子たちがエコクラブを離れた現在は、知り合いの子供と活動している。自身の他の親たちへの啓発がうまくいかなかったと感じる。何とか、高校・大学のOBたちに声かけし活動を継続したいと思う。
35	行政の協力を得るのに苦労する。特に、紹介を求められる、誰々の紹介ならなど非常に保守的で、環境分野等にも既得権があるようだ。
38	行政で育成しているためか、自然解説員の比重が大きすぎるのでは、石川県のような公民を合わせた石川自然学校のような組織ができると、指導者も多様化するし、体験を求めている人にもチャンスが増えると思う。
40	環境問題に関心を持つと、環境の汚れが気になります。タバコ、ペットボトル、袋、ビン等子供の前で親がポイ捨てをしているのを見ました。注意したくても怖くて言えませんでした。大人も、子供も教育が大事です。行政や学校で環境教育をしてほしいです。
42	グローバルな視点で学び、足元から行動することが大切だと思う。 誰が何を分担するか明確にして、県をあげての活動にしていけばよい。 取り組みをどう評価するのかを明らかにした上で活動をすればいいのではないかと
45	活動に対する行政との協働の仕組み、財政的支援
47	ナチュラリスト養成講座等の中に、環境保全活動の講座をさらにふやすこと 行政と外国人観光客への対応を協議すること 外来植物除去など、さかんになされているか、今の状態でよいのか、各団体と協議すること



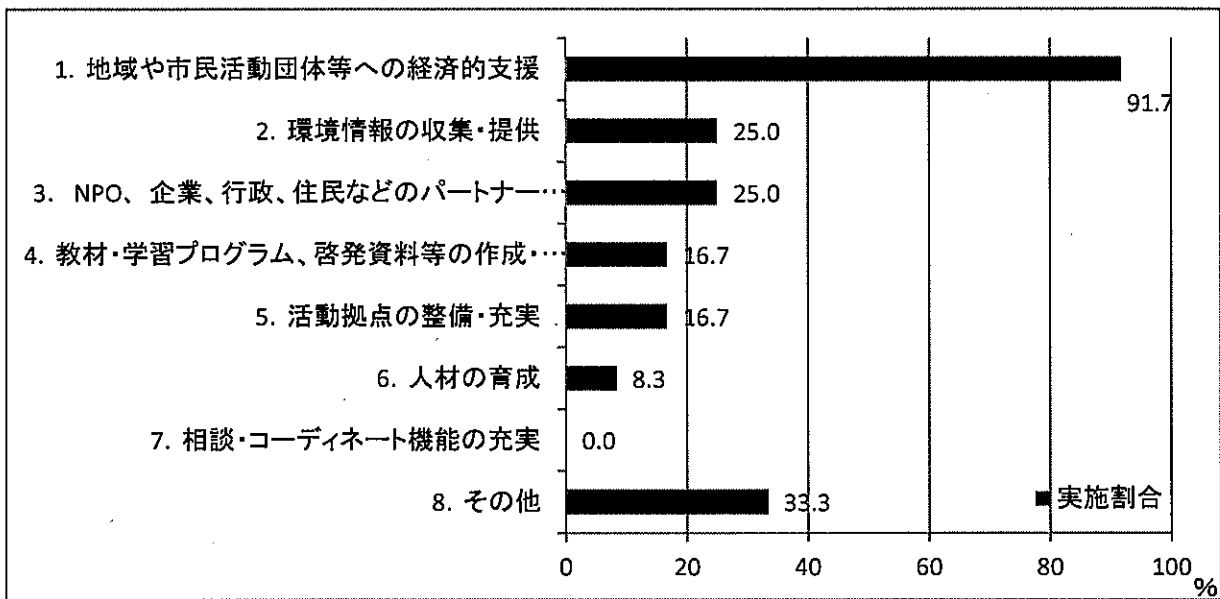
「環境教育・環境保全活動・協働取組み」に関する アンケート調査結果(市町村)

回答数 15/15市町村

問1 貴市町村では、平成27年度、地域や市民活動団体等の環境保全活動や環境教育を推進する取組みを行いましたか。(1つ選択)



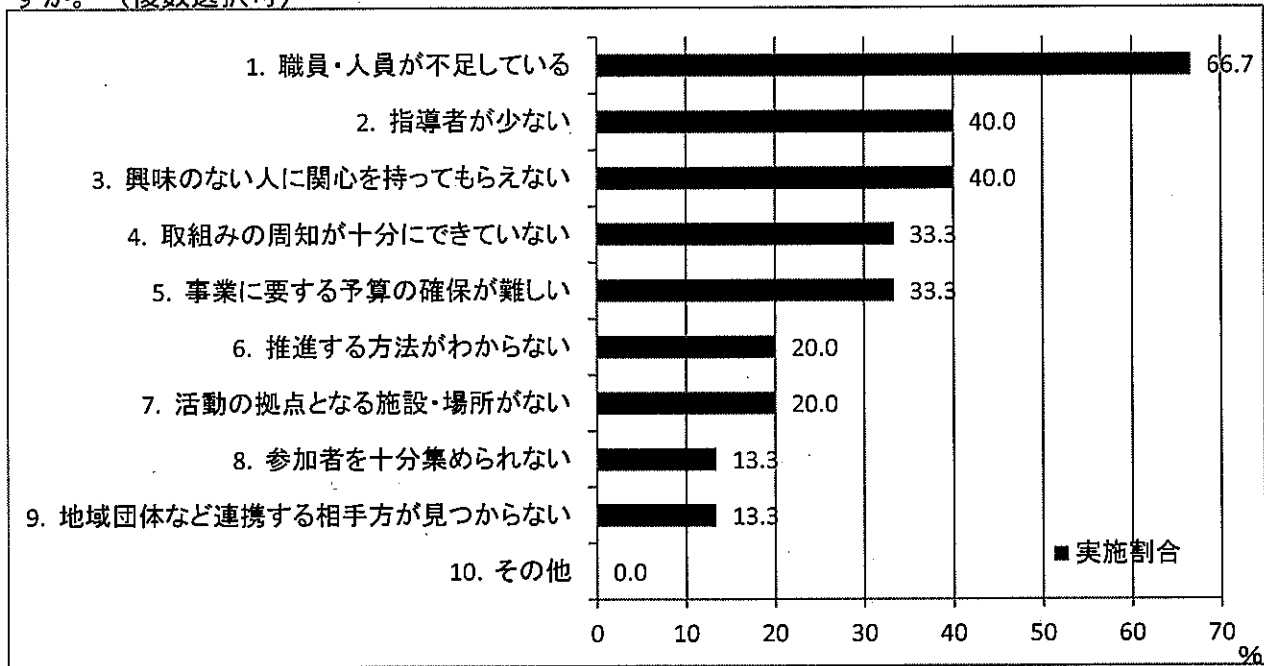
問2 貴市町村では、地域や市民活動団体等の環境保全活動や環境教育を推進するため、どのようなことに取り組んでいますか。(複数選択可)



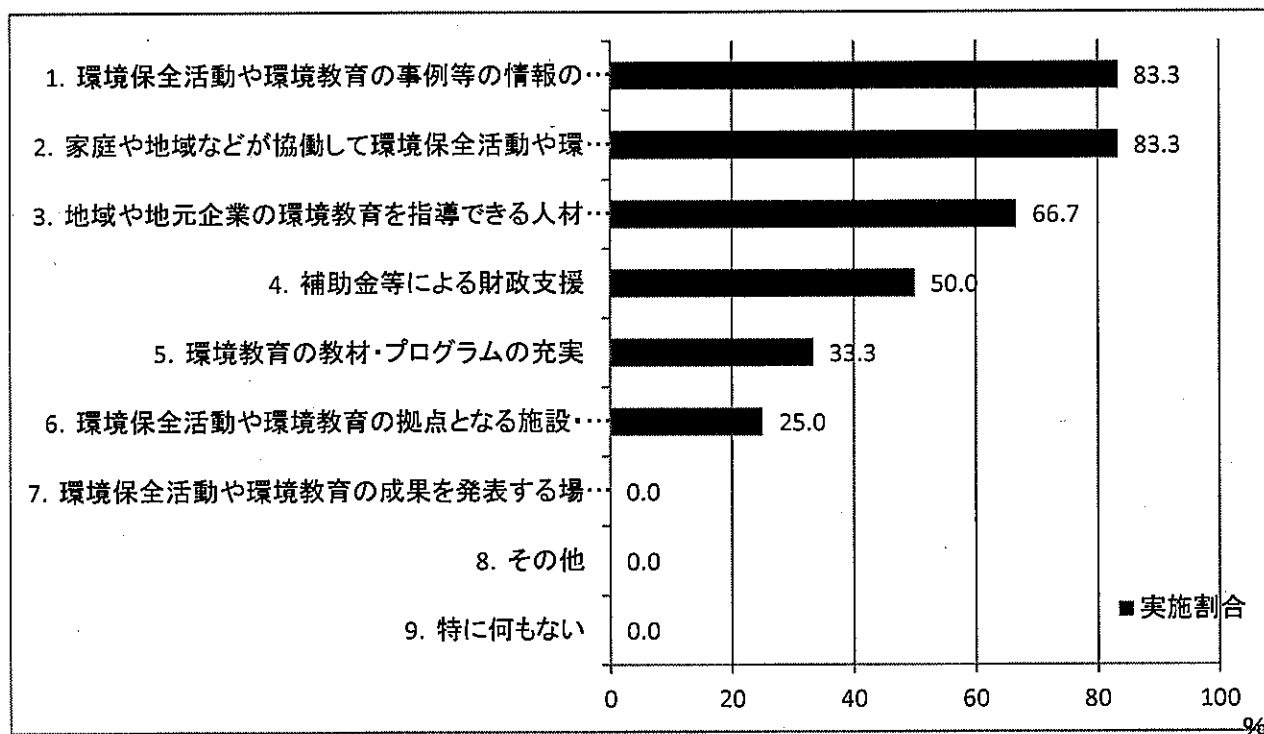
問3 貴市町村で、平成27年度に実施した、地域や市民活動団体等の環境保全活動や環境教育を推進する取組みのうち、特に力を入れているものについて、記入ください。
(後掲:表中の選択番号は下記のとおり)

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1. 人材の育成 | 2. 教材・学習プログラム、啓発資料等の作成・配布 |
| 3. 相談・コーディネート機能の充実 | 4. 活動拠点の整備・充実 5. 環境情報の収集・提供 |
| 6. NPO、企業、行政、住民などのパートナーシップのためのネットワークづくり | |
| 7. 地域や市民活動団体等への経済的支援 | 8. その他 |

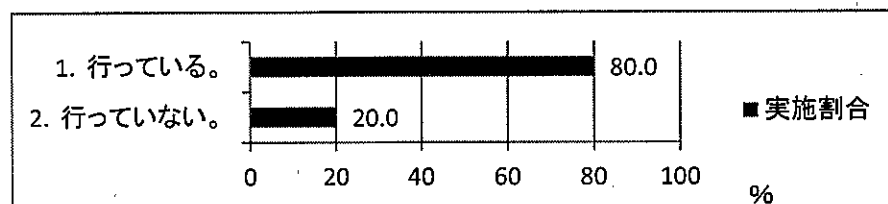
問4 地域や市民団体等の環境保全活動や環境教育を推進する際に課題とされていることは何ですか。(複数選択可)



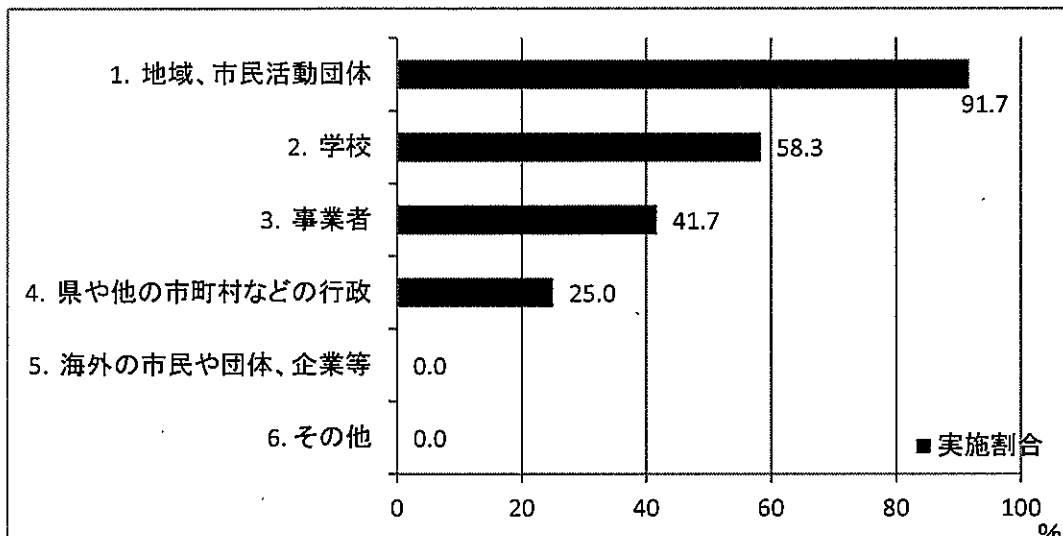
問5 貴市町村が地域や市民団体等の環境保全活動や環境教育を推進するにあたって、県に期待することはありますか。(複数選択可)



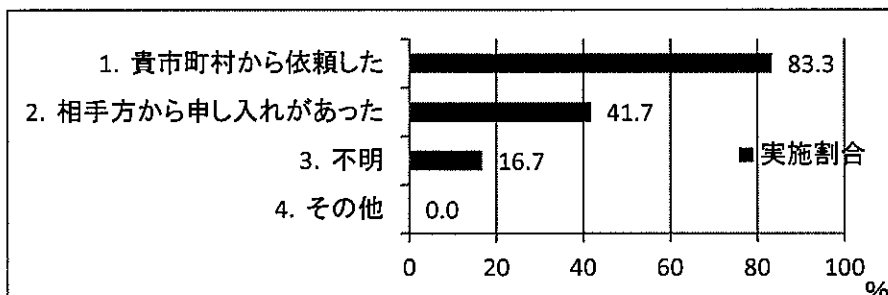
問6 貴市町村で、平成27年度に、環境保全活動や環境教育を推進する際、団体等と連携をとり行いましたか。(1つ選択)



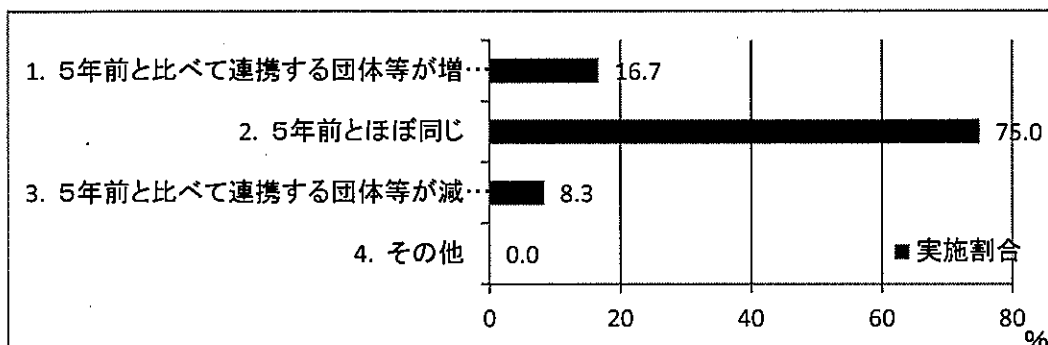
問7 貴市町村で環境保全活動や環境教育を推進するにあたり、連携をとっている相手方はどこですか。(複数選択可)



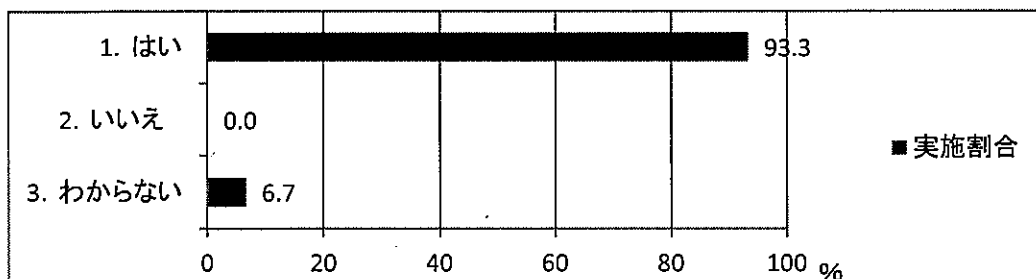
問8 問7で回答した団体等との連携のきっかけは何ですか。(複数選択可)



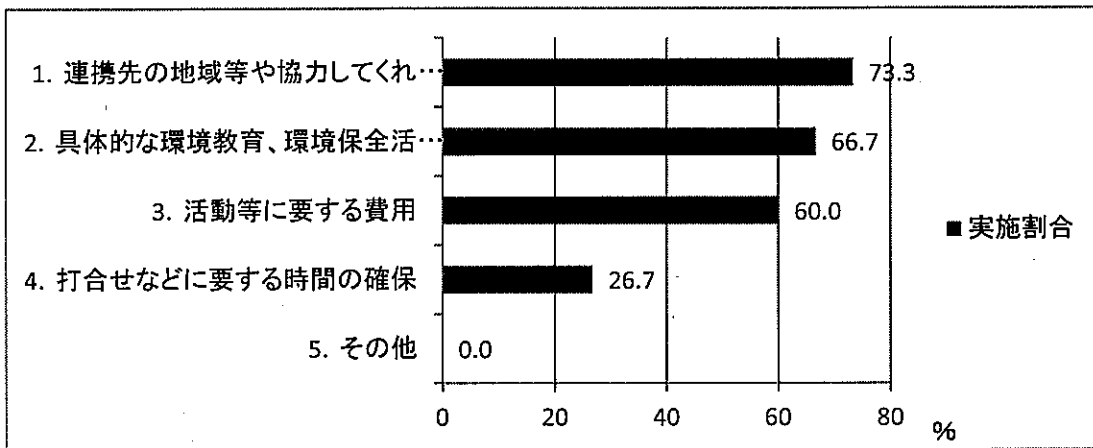
問9 連携している団体等の数について、概ね5年前と比べ変化はありますか。(1つ選択)



問10 団体等と連携して環境保全活動や環境教育を実施されたいと思いますか。(1つ選択)



問11 団体等と連携する際の課題は何ですか。(複数選択可)



問3の回答一覧

※No欄は、同一市町村から複数の回答があった場合、同じ番号で表示している。

No	選択番号	事業名	事業内容
1	2	3R推進スクール事業	・小学校、保育所、幼稚園を対象に、「3R推進スクール」を実施
1	2	ごみ減量普及啓発事業	・小学4年生に啓発用副読本「美しい富山」の作成・配布 ・地域住人を対象に「出前講座」を実施 ・全世帯に「ごみ・資源物収集カレンダー」の作成・配布
1	2	事業系一般廃棄物減量化推進事業	・事業系一般廃棄物減量計画書の提出 ・減量化・資源化を啓発する研修会の開催
1	2	水産多面的機能発揮対策事業	「水辺をきれいにする会」と富山市で協定を結んでおり、水辺の環境保全及び教育の啓発を図る活動が円滑に実施できるよう支援している。
1	2	呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業（環境教育）	呉羽丘陵を舞台に、ホースセラピー事業及びスマートパーク事業ならびに環境教育等を含めた環境教育プログラムの作成および実施と教育効果の検証を行った。
1	2・4	水辺空間賑わい創出事業	富岩運河の歴史や豊かな水辺環境の学習の場を提供するために、「環境学習支援船」の運航を行なうもの（県と市の共同で運航を実施）
1	4・8	富山市次世代エネルギーパーク推進	国から「富山市次世代エネルギーパーク」として認定を受けた小水力発電所やエコタウンなどの施設を巡る市民向けのツアーを年3回実施した。
1	5・6	チームとやまし推進事業	市民・事業者・行政が一体となってCO2排出削減に取り組む市民総参加のプロジェクト。HPをリニューアルし、環境に関する情報を発信や、他チームの取組を閲覧、エネルギー使用実績の入力等ができる。また、市内の保育園等に緑のカーテンを設置する取組みも実施した。
1	7	ESD推進事業	・ESDの推進 ・ESD富山シンポジウムの支援
1	8	「おいしいとやま食べきり運動」事業	消費者団体等で構成される実行チームが主体となり、家庭や飲食店などでの取組を推進するとともに、あらゆる広告媒体を活用しながら「残さず食べきる」運動の周知・啓発を協働で実施し、市全体で「食べきり」意識の共有を計る。
1	8	エコキッズ育成事業	未来を担う次世代の育成を強化するため、エコ・科学・エネルギー関連施設が連携を図り、様々なイベントを行う「エコキッズマンスリーinとやま2015」を実施
1	8	啓発看板の提供	ポイ捨て禁止、ペットの糞の持ち帰り等の看板を必要な方に提供し立ててもらうもの
2	1	グリーンカーテン環境啓発事業	市内の幼稚園・保育園において、「こどもエコクラブ」を結成し、グリーンカーテンの育成などの環境啓発活動を行う。
2	7	消費者教育啓発活動事業	自立した消費者を目指し、消費生活に役立つ情報の取得や啓発活動等に努めている消費者団体等の活動を支援する。
2	8	美しいまちづくり高岡市民連絡会議	自然環境保全対策として、市内の山・公園、河川及び海岸の特別清掃を行った。また、生活環境保全対策として、雑草の繁茂・不法投棄・落書き等の美化パトロールや、国道及び新駅周辺を重点路線とした特別清掃を行った。
3	6	生物多様性保全推進事業	生物多様性の保全のための各種団体との連携と取組みの推進。自然観察会や里山体験会、ブックフェアの開催
3	7	環境保全活動推進事業	市民の自主的かつ継続的な環境保全活動を推進するため、魚津市内で活動する団体が実施する実践活動、教育啓発活動、調査研究活動に対し補助金を交付する。
3	7	環境衛生推進事業	環境保健衛生協会組織を通じて、地域の自主的かつ組織的な実践活動を推進する。地区一斉清掃や不法投棄防止パトロール、環境家計簿の実施など。
3	8	環境保全啓発事業	環境フェスティバルの開催
4	7	環境美化推進事業	快適で住みよい街づくりを推進するため、地域やボランティアと協働し美化活動を実施している。この事業の中で、ボランティア活動用ごみ袋の配布や、ごみのポイ捨て防止対策用マナー向上啓発看板の設置を行い支援している。
5	5	環境フェア	各種団体・企業による環境に関する展示、体験 緑のカーテンコンテスト取組展示 エコポスター展示
5	8	こどもエコクッキング	夏休み期間中に、放課後児童育成クラブの児童を対象として、環境に関する講演や体験型環境教育を実施。
5	8	エコクッキング講座	食生活の中で省エネ等による地球温暖化防止の啓発を図るため、市民を対象に料理講座を実施。
6	7	地区環境衛生協議会議会補助	協議会の運営、環境美化活動支援、先進地視察研修支援
7	7	小矢部川をきれいにせんまいけ大作戦	小矢部河川公園および小矢部川護岸堤防の清掃
8	7	エコビレッジ部活動	市内高校生の環境に関する取組みについて支援するもの
9	7	資源回収奨励金	資源の有効活用を図るため、町内会や各種団体へ奨励金を交付するもの
9	7	環境美化活動	ごみ拾い等の清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋、軍手の配付を行うもの
9	2	いみず環境チャレンジ10	市内全域の小学校において地球温暖化防止に関する授業を実施。
10	7	アダプトプログラム事業	市民等が道路等の里親となってボランティアで管理するアダプト・プログラム（里親制度）を実施。
10	7	不法投棄監視パトロール事業	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを、市長が委嘱した者がパトロールを実施。

10	7	生物多様性保存型 里山ビオトープ事	NPO法人が実施する里山ビオトープ事業
10	4	竹鼻が-サイト公園 整備事業	小学校で取り組んでいるトミヨや水環境を守る活動を推進するため、児童が清掃した泥の処分や花壇整備の資材を提供した。
11	5	環境衛生視察 (入善町保健衛生 協議会)	各地区から選任された委員を対象に町に廃棄物の処理を行っている施設見学を実施
11	7	入善町資源回収 団体奨励金制度	資源物を回収した団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付
12	6	地域環境美化推進 員	地域の清潔保持や環境美化活動を推進するため各町内会に美化推進員を設置
12	6	不法投棄防止パト ロール	町と自治振興会で協同して不法投棄防止パトロールを実施
12	6	町民総ぐるみ清掃 月間	毎年7月を町民総ぐるみで美化活動に取り組む
12	7	リサイクル登録団 体報償金	資源物の回収量に応じてリサイクル団体に報奨金を交付
12	7	美化活動報償	町内会で実施する美化活動で使用する車両及び発生する汚泥等の処分に係る費用を助成

「市町村」のその他の意見一覧

No	その他意見
2	来年度に市内事業者をモデルとし、「体験の機会」の認定制度を活用した取り組みを実施したいと考えており、県の協力・支援をお願いしたい。

